

Microsoft System Center
Operations Manager 2007
SP1/R2 および System
Center Essentials 2007 SP1/2010
用 Dell Server Management
Pack Suite Version 4.1
ユーザーズガイド



メモおよび注意



メモ：コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。



注意：ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

本書の内容は予告なく変更されることがあります。
© 2010 すべての著作権は Dell Inc. にあります。

Dell Inc. の書面による許可のない複製は、いかなる形態においても厳重に禁じられています。

本書に使用されている商標：Dell™、DELL ログ、PowerEdge™、PowerVault™、および OpenManage™ は Dell Inc. の商標です。Broadcom® は Broadcom Corporation の登録商標です。Intel® は米国およびその他の国における Intel Corporation の登録商標です。Microsoft®、Windows®、Windows Server®、および Windows Vista® は、米国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。本書では、上記記載以外の商標および会社名が使用されている場合があります。それらの商標や会社名は、一切 Dell Inc. に帰属するものではありません。外部のウェブサイトやそのコンテンツについては一切責任を負いません。

2010 年 12 月

目次


1	前書き	7
	Management Pack Suite の内容	7
	Dell Server Management Pack Suite	
	バージョン 4.1 の新機能	8
	Dell Server Management Pack Suite の主要機能	9
	Dell Server Management Pack Suite v4.1 について	11
	対応 Dell デバイス	13
	対応オペレーティングシステム	13
	対応ファームウェアバージョン	15
2	はじめに	17
	管理サーバー (MS) の要件	17
	ソフトウェアの要件	17
	検出の要件	18
	セキュリティの設定	18
	シャードモジュラーサーバー相互作用要件	19
	管理対象システムの要件	19
	Dell システムの要件	19
	標準のユーザー権限を使用した管理サーバー	
	アクションアカウンタの設定	21
	Dell CMC/DRAC MC の要件	21
	Dell Server Management Pack Suite v4.1 のインストール	21
	インポート前のタスク	21
	管理パックのインポート	22

Dell Server Management Pack Suite v4.1 の	
インポート後のタスク	23
サーバーモジュールとシャーシスロットサマリの 検出のための Dell Chassis Management Controller Management Pack の設定	23
アドバンス電源制御と LED 識別表示タスクの作成	24
以前の管理パックからのアップグレード	25
Dell Server Management Pack Suite v4.0 からの アップグレード	26
アップグレード後のタスク	26
Dell Server Management Pack 3.x からの アップデート	26
Dell Server Management Pack Suite v4.1 の	
アンインストール	27
管理パックの削除	27
Dell CMC Management Pack 4.1 を削除する前に	27
アクセス権限	28
3 Dell Server Management Pack Suite の	
操作について	29
概要	29
Web Console	29
検出およびグループ化	30
Dell システムの検出	30
DRAC および CMC デバイスの検出	31
Dell ハードウェアの検出とグループ化	31
Dell Server Management Pack によって検出された オブジェクト	32
監視	34
警告ビュー	35
ダイアグラムビュー	37
状態ビュー	46
パフォーマンスおよび電源監視ビュー	46


タスク	47
Dell モジュラーおよびモノリシックシステムの タスク	48
Dell Remote Access Controller (DRAC) タスク	52
Dell Chassis Management Controller (CMC) タスク	52
レポート	53
OpenManage Windows イベントログ	53
BIOS の設定	54
ファームウェアおよびドライバのバージョン	54
RAID 構成	55
Dell Server Management Pack Suite のカスタマイズ	55
ユニット監視	55
オブジェクト検出	60
ルール	60
4 関連文書およびリソース	63
Operations Manager 2007 SP1/R2 用のパフォーマンスと 拡張性に関する Microsoft ガイドライン	63
その他の必要マニュアル	63
テクニカルサポートの利用法	64
A 付録 A - 問題とその解決	65
既知の制限	67

前書き

Dell Server Management Pack Suite v4.1 と Microsoft Systems Center Operations Manager (SCOM) 2007 SP1/R2、System Center Essentials (SCE) 2007 SP1/2010 環境の統合は、お使いの Dell デバイスの管理と監視を可能にし、可用性を確実にします。

 **注意：**データの破壊および/または損失を避けるため、本書の手順は **Microsoft Windows オペレーティングシステム、Systems Center Operations Manager 2007 SP1/R2、System Center Essentials 2007 SP1/2010** の使用における適切な知識と経験をお持ちの場合にのみ実行してください。

 **メモ：**既知の問題に加え、ソフトウェアおよび管理サーバーの要件に関する最新情報が記載された管理パックの readme ファイルをお読みください。readme ファイルは、デルサポートサイト support.jp.dell.com/manuals のシステム管理マニュアルのページに掲載されています。また、readme ファイルは、自己解凍式実行ファイル **Dell_Server_Management_Pack_Suite_v4.1_A00.exe** にも格納されています。

 **メモ：**本書における Systems Center Operations Manager (SCOM) 2007 SP1/R2 へのすべての参照は、System Center Essentials (SCE) 2007 SP1/2010 にも適用されます。

Management Pack Suite の内容

Dell Server Management Pack Suite v4.1 には次が収録されています。

管理パック：

- Dell.WindowsServer.Scalable.mp
- Dell.WindowsServer.Detailed.mp
- Dell.OutOfBand.CMC.mp
- Dell.OutOfBand.DRAC.mp

ユーティリティ：

- Dell.Connections.HardwareLibrary.mp (ベースフォルダユーティリティ)
- Dell.WindowsServer.InformationalAlertsOn.mp
- Dell.ChassisModularServer.Correlation.mp

マニュアル：

- DellMPv41_Readme
- DellMPv41_CMC_Readme
- DellMPv41_DRAC_Readme
- DellMPv41_Server_Readme

4 つの管理バックファイル、3 つのユーティリティ、および readme ファイルは、**Dell Server Management Pack Suite v4.1 A00.exe** 自己解凍式実行ファイルに格納されています。この実行ファイルは、デルサポートサイト support.jp.dell.com からダウンロードできます。

Dell Server Management Pack Suite バージョン 4.1 の新機能

表 1-1. 新機能と機能性

新機能	機能性
サーバーネットワークインタフェースカードの検出と監視	次をサポートします。 <ul style="list-style-type: none">• Broadcom および Intel ネットワークインタフェースカード (NIC) の物理ネットワークインタフェースおよびチーミングされたネットワークインタフェースの帯域内検出と監視。• Server Administrator バージョン 6.2.0.1 ~ 6.4 を実行するシステム上のネットワークインタフェースカードの強化されたプロパティと属性の表示。• Server Administrator バージョン 6.2.0.1 以降の物理ネットワークインタフェースおよびチーミングされたネットワークインタフェースのパフォーマンスグラフ。• ネットワークインタフェース 警告 ビューでのリンクアップおよびリンクダウン警告。• Dell モジュラーシステム および Dell モノリシックシステムのダイアグラムビューにおける、Server Administrator バージョン 6.2.0.1 以降の物理ネットワークインタフェースとチーミングされたネットワークインタフェースの相互作用。
iDRAC vFlash カードの検出と監視	Dell システムの iDRAC vFlash カードおよび iDRAC ネットワークインタフェースの帯域内検出および監視をサポートします。

表 1-1. 新機能と機能性 (続き)

新機能	機能性
検出と監視 - シャーシ管理	<p>次をサポートします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • CMC および DRAC/MC シャーシのサーバーモジュールおよびシャーシスロットサマリの検出。 • Chassis Management Controller ダイアグラムビューにおける Dell サーバーと CMC サーバーモジュールおよび DRAC/MC シャーシとの相互作用。
追加のトラップ	<p>次をサポートします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Server Administrator バージョン 6.2.0.1 ~ 6.4 に導入された全新規トラップ。 • DRAC および iDRAC の Platform Event Trap (PET)。
Remote Desktop 起動	<p>検出された Dell システムのリモートデスクトップの、Operations Manager Console からの起動をサポートします。</p>

Dell Server Management Pack Suite の主要機能

Dell Server Management Pack Suite v4.1 は、Dell Windows システムおよび帯域外 Dell デバイスを管理するための次の機能を提供します。

表 1-2. 機能と特徴

機能	機能性
帯域内検出と監視 - Dell システム	<p>次の帯域内検出と監視をサポートします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • サポートされている Windows オペレーティングシステムを実行する Dell PowerEdge および PowerVault モノリシックシステムとモジュラーシステム。 • 帯域内の Dell Remote Access Controller (DRAC)、iDRAC および IPMI デバイス。
検出と監視 - シャーシ管理	<p>次をサポートします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Dell Chassis Management Controllers (CMC) および DRAC/ Modular Chassis (DRAC/MC) デバイスの帯域外検出と監視。 • CMC および DRAC/MC シャーシのサーバーモジュールおよびシャーシスロットサマリの検出対応。 • Dell サーバーと CMC サーバーモジュールおよび DRAC/MC シャーシとの相互作用。

表 1-2. 機能と特徴（続き）

機能	機能性
帯域外検出と監視 - Dell Remote Access Controller (DRAC)	次をサポートします。 <ul style="list-style-type: none"> • Dell Remote Access Controller (DRAC) 4、DRAC 5、および内蔵 DRAC の帯域外検出と監視。 • DRAC および iDRAC の追加 Platform Event Trap (PET)。
パフォーマンスの監視	Dell システムでは、次をサポートします。 <ul style="list-style-type: none"> • パフォーマンス と 電源監視 ビューを使用した電源、温度、ネットワークインタフェース統計。 • Server Administrator バージョン 6.2.0.1 以降の物理ネットワークインタフェースおよびチーミングされたネットワークインタフェースのパフォーマンスグラフ。
詳細監視	<ul style="list-style-type: none"> • 拡張性要件に基づいた Dell システムの計装レベルの選択に柔軟性を提供します。 • Server Administrator を使用した、情報警告の有効化による詳細監視です。
Operations Console からの Dell ツールの起動	次をサポートします。 <ul style="list-style-type: none"> • Server Administrator Console の起動 • Dell Remote Access Console の起動 • Dell CMC Console の起動 • Dell Modular Chassis Remote Access コンソールの起動 • Remote Desktop コンソールの起動

Dell Server Management Pack Suite v4.1 について

次の表では、管理パックとユーティリティ、およびそれらの相互依存性について説明します。

表 1-3. 管理パックの機能性と依存性

管理パック / ユーティリティ	説明	依存関係
ベースフォルダユーティリティ	Operations Console の監視ペインで Dell ハードウェアグループと Dell フォルダを定義するための管理パックです。	なし
Scalable Server MP	サポートされている Dell PowerEdge および PowerVault をコンポーネントグループレベルで計装するための管理パックです。	ベースフォルダユーティリティ 4.0
Detailed Server MP	サポートされている Dell PowerEdge および PowerVault をコンポーネントレベルで計装するための管理パックです。 メモ ：300 台未満のノードを管理する時には、この管理パックを使用しません。	ベースフォルダユーティリティ 4.0 Scalable Server MP 4.1
Informational-alerts-On 上書きユーティリティ	Scalable Server MP で定義された Dell OMSA の情報警告を有効化することによる、詳細監視機能ユーティリティです。	ベースフォルダユーティリティ 4.0 Scalable Server MP 4.1
CMC MP	CMC および DRAC/MC シャーシの検出および監視用の管理パックです。	ベースフォルダユーティリティ 4.0
DRAC MP	Dell Remote Access カード (DRAC4、DRAC5、iDRAC モジュール) および iDRAC モノリシック) の検出および監視用の管理パックです。	ベースフォルダユーティリティ 4.0

表 1-3. 管理パックの機能性と依存性（続き）

管理パック / ユーティリティ	説明	依存関係
シャーシモジュラーサーバー相互作用ユーティリティ	<p>Dell モジュラーシステムと CMC および DRAC/MC サーバーモジュールを相互作用させるための管理パックです。</p> <p>このユーティリティは、SCOM 2007 R2 のみでサポートされます。</p> <p>メモ： 相互作用機能を動作させるには、アカウントとして実行を設定し、CMC スロット検出 および / または DRACMC スロット検出 を有効にする必要があります。詳細については、シャーシモジュラーサーバー相互作用要件を参照してください。</p>	<p>ベースフォルダユーティリティ 4.0</p> <p>Scalable Server MP 4.1</p> <p>CMC MP 4.1</p>

メモ： 管理/パックをインポートする前にすべての依存性をインポートし、依存性を削除する前に管理/パックを削除してください。

Scalable Management Pack および Detailed Management Pack の比較

表 1-4 は、Scalable Management Pack および Detailed Management Pack を最適に利用できる環境を理解するために役立ちます。

表 1-4. Scalable Management Pack 対 Detailed Management Pack

プロパティ	Scalable Management Pack	Detailed Management Pack
コンポーネント階層	Scalable MP は、コンポーネントグループ までの詳細、および iDRAC の存在を表示します。	Detailed MP はコンポーネントレベルまでの詳細を表示します。Detailed MP は、メモリ、プロセッサ、ネットワークインタフェース、ストレージコントローラ、ディスク、ボリュームなどに関する追加レベルの情報を提供します。さらに、BIOS 情報も表示されます。
拡張性	Scalable MP を使用して最適なハードウェアのインベントリを監視することができ、管理サーバーにつきサーバー 300 台超に拡張することが可能	Detailed MP を使用して詳細インベントリを監視することができ、管理ステーションにつきサーバー 300 台まで拡張することが可能

表 1-4. Scalable Management Pack 対 Detailed Management Pack (続き)

プロパティ	Scalable Management Pack	Detailed Management Pack
レポート	この管理パックでは、OpenManage Windows イベントログのレポートのみを利用できます。	この管理パックでは、BIOS 設定、ファームウェアとドライバのバージョン、および RAID 構成の各種レポートを利用できます。

対応 Dell デバイス

Dell Server Management Pack Suite v4.1 では、次の Dell デバイスがサポートされます。

- Dell PowerEdge システム - x8xx から xx1x (両システムを含む) のシステムを完全サポート。
- Dell PowerVault システム - x8xx から xx1x (両システムを含む) のシステムを完全サポート。



メモ: PowerEdge および PowerVault のどちらのシステムも、Detailed Server Management Pack および Scalable Server Management Pack でサポートされています。サポートされているプラットフォームの最新リストは、デルサポートサイト support.jp.dell.com でご利用いただけます。

- DRAC Management Pack 装備の DRAC 4、DRAC 5、iDRAC 6
- CMC Management Pack 装備の CMC および DRAC/CMC

詳細については、[機能サポートマトリックス](#)を参照してください。

対応オペレーティングシステム

次の表では、管理サーバーでサポートされるオペレーティングシステムがリストされています。

表 1-5. 管理サーバーでサポートされるオペレーティングシステム

Windows バージョン	Standard エディション	Enterprise エディション	Datacenter エディション
Windows Server 2003 SP2	x86 および x64	x86 および x64	x86 および x64
Windows Server 2003 R2 SP2	x86 および x64	x86 および x64	x86 および x64
Windows Server 2008	x86 および x64	x86 および x64	x86 および x64
Windows Server 2008 R2	x64	x64	x64

表 1-5. 管理サーバーでサポートされるオペレーティングシステム

Windows バージョン	Standard エディション	Enterprise エディション	Datacenter エディション
Windows Server 2008 SP2	x86 および x64	x86 および x64	x86 および x64
Windows Server 2008 R2	x64	x64	x64

管理対象ノードでサポートされるオペレーティングシステムは次のとおりです。

- Windows Server 2003 SP2、x86、x64 (Standard、Enterprise および Datacenter Edition)
- Windows Server 2003 SP2、x86、x64 (Standard、Enterprise および Datacenter Edition)
- Windows Server 2003 R2 SP2、x86、x64(Standard、Enterprise および Datacenter Edition)
- Windows Storage Server 2003 R2 SP2 x64
- Windows Server 2003 Unified Data Storage x64
- Windows Server 2008、x86、x64 (Standard、Enterprise および Datacenter Edition)
- Windows Server 2008 SP2、x86、x64 (Standard、Enterprise、Datacenter Edition)
- Windows Server 2008 R2、x64 (Standard、Enterprise および Datacenter Edition)
- Windows Server 2008 Small Business Server (Standard および Premium Edition)
- Windows Server 2008 Essential Business Server (Standard および Premium Edition)
- Windows Unified Data Storage Server 2008 (Workgroup、Standard および Premium Edition)
- Windows Storage Server 2008 (Standard および Enterprise Edition)
- Windows Server 2008 Unified Data Storage Server
- Windows Server 2008 HPC Edition
- Microsoft Hyper-V Server 2008 x64
- Windows Server 2008 Unified Data Storage Server x64



メモ : Windows Server 2008 オペレーティングシステムでは、SP1 および SP2 の両バージョンがサポートされます。

SCOM/SCE 用管理サーバーでサポートされているオペレーティングシステムのリストは、Microsoft のウェブサイト

[http://technet.microsoft.com/hi-in/library/bb309428\(en-us\).aspx](http://technet.microsoft.com/hi-in/library/bb309428(en-us).aspx) を参照してください。

対応ファームウェアバージョン

次の表では、DRAC および CMC デバイス対応のファームウェアバージョンがリストされています。

表 1-6. DRAC および CMC デバイス対応のファームウェアバージョン

DRAC	CMC および DRAC/MC
iDRAC6 モジュラー：バージョン 2.3 および 3.0	CMC: バージョン 2.1 以降
iDRAC6 モノリシック：バージョン 1.5 および 1.54	DRAC/MC：バージョン 1.5 以降
xx0x iDRAC：バージョン 1.4 および 1.52	
DRAC 5：バージョン 1.5 および 1.51	
DRAC 4：バージョン 1.71 および 1.75	

はじめに

管理サーバー（MS）の要件

ソフトウェアの要件

次の表では、管理サーバーにおけるソフトウェア要件がリストされています。

表 2-1. ソフトウェアの必須条件

ソフトウェア	目的
OpenManage Server Administrator (Server Administrator)	管理サーバーをホストする Dell システムを検出および管理するために、CMC および DRAC/MC シャーシのシャーシスロットサムリとサーバーモジュールを検出します。
または DRAC ツール	CMC および DRAC/MC シャーシのシャーシスロットサムリとサーバーモジュールを検出します。
BMC 管理ユーティリティ バージョン 2.0	Dell の管理対象システムにおいて、リモートで電源制御タスク、または LED 識別表示制御タスクを実行します。



メモ： BMC 管理ユーティリティ、OpenManage Server Administrator (Server Administrator) および DRAC ツールは、Dell Systems Management Tools and Documentation メディアから利用、または support.jp.dell.com からダウンロードできます。



メモ： IPv6 属性を持つ管理対象システムを検出するには、管理サーバーで IPv6 を有効化および設定する必要があります。

表 2-2. 機能サポートマトリックス

管理サーバー設定	8G	8G	9G、10G、11G	9G、10G、11G
ソフトウェア	OMSA	DRAC ツール	OMSA	DRAC ツール
Dell サーバーとして検出された管理サーバー	✓	✗	✓	✗
CMC/DRAC 管理サーバー検出	✓	✓	✓	✓
CMC および DRAC/ 管理サーバー スロット検出	✗	✓	✓	✓
シャーシブレードの相互作用	✗	✓	✓	✓

管理サーバーアクションアカウントでは、次にリストする機能のために Dell システムにおける次の追加権限が必要です。

表 2-3. 管理サーバーアクションアカウントの権限

機能	ユーザー権限
Dell モノリシックサーバーの帯域内 DRAC 検出および DRAC コンソールの起動	管理者またはパワーユーザー
ESM ログのクリア	管理者またはパワーユーザー あるいは、管理サーバーアクションアカウントに標準のユーザー権限が付与されている場合、ユーザーは 事前定義された RunAs アカウントの使用 を選択する代わりに、パワーユーザー以上の権限のあるタスク資格証明を入力して、 ESM ログのクリア タスクを実行できます。

検出の要件

- ネットワーク上の Windows システムの検出には、Windows コンピュータ検出を実行します。
- 帯域外の DRAC 4、DRAC 5、iDRAC 6、DRAC/MC、および CMC の検出には、ネットワークデバイス検出を実行します。

セキュリティの設定

適用対象 — Dell CMC MP

CMC および DRAC/MC シャーシのシャーシスロットサマリとサーバーモジュールを検出するには、適切な **RunAs アカウント** を設定し、それらを **Dell CMC ログインアカウント** または **DRAC/MC ログインアカウント RunAs プロファイル** にリンクする必要があります。詳細については、[サーバーモジュールとシャーシスロットサマリの検出のための Dell Chassis Management Controller Management Pack の設定](#) を参照してください。

シャーシモジュラーサーバー相互作用要件

複数管理サーバー対単一管理グループのある分散型 SCOM 環境の場合、CMC および / または DRAC/MC シャーシを検出および監視する管理サーバー上でサーバープロキシを有効化する必要があります。

プロキシエージェントを有効化するには、次の手順を実行します。

- 1 SCOM コンソールで **管理** をクリックします。
- 2 **管理** ペインで、**管理サーバー** をクリックします。
- 3 CMC および / または DRAC/MC デバイスを検出した管理サーバーを選択します。
- 4 右クリックして、**プロパティ** を選択します。
- 5 **管理サーバープロパティ** ダイアログボックスで、**セキュリティ** タブをクリックします。
- 6 チェックボックスを選択して、サーバーがプロキシとして動作し、他のコンピュータにおける管理対象オブジェクトを検出できるようにします。
- 7 **OK** をクリックします。



メモ：シャーシモジュラーサーバーの相互作用機能は、SCOM 2007 R2 でのみ利用可能です。相互作用機能を動作させるには、**CMC スロット検出** および **DRAC/MC スロット検出** を有効化する必要があります。

管理対象システムの要件

Dell システムの要件

管理対象システムの要件は次のとおりです。

- Server Administrator (Server Administrator Storage Management Service を含む) をインストールします。


表 2-4 では、サーバー管理バック機能と、それに対応するサポートされた OMSA バージョンがリストされています。

表 2-4. Server Administrator バージョンおよび対応機能


Server Administrator バージョン	5.5	6.1	6.2	6.2.0.1	6.3	6.4
Dell Windows サーバーの検出、 インベントリ、および監視	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ベーシックネットワークインタフェース 属性	✓	✓	✓	✓	✓	✓
エンリッチネットワークインタフェース 属性	✗	✗	✗	✓	✓	✓
iDRAC の監視	✗	✗	✗	✗	✓(*)	✓(*)

(*) : iDRAC ファームウェアバージョン >=1.54

 **メモ** : システムに Server Administrator バージョン 5.5 より以前のバージョンがインストールされている場合、それは管理対象外にグループ化され、監視は無効になります。

 **メモ** : 管理対象システム上の Server Administrator をアップグレード、またはアンインストールしたい場合、管理対象システムの警告ビューに **Script or Executable failed to run** (スクリプト、または実行可能ファイルの実行に失敗しました) というエラーが表示される場合があります。管理対象システムが管理サーバーではない場合、アップグレード / アンインストールが完了するまで、システムを **メンテナンスモード** に切り替えてください。管理対象システムが管理サーバーである場合、アップグレード / アンインストールの完了後、手動で警告を閉じることができます。

 **メモ** : iDRAC の帯域内検出は、iDRAC ファームウェアバージョンが 1.54 以上で、OMSA バージョンが 6.3 以上の場合に実行されます。

 **メモ** : WMI サービスを有効化して実行してください。

- お使いの Dell システムに **Dell Remote Access Controller (DRAC)** がインストールされている場合は、『**Dell Systems Management Tools and Documentation**』メディアを使用して DRAC エージェントをインストールします。
- BMC に有効な IP アドレスを設定し、アドバンス電源制御および LED 識別表示タスクの動作のためのネットワークの接続性を確保します。

標準のユーザー権限を使用した管理サーバーアクションアカウントの設定

管理サーバーアクションアカウントを設定するには、次の手順を実行します。

- 1 管理サーバーに **SCOM 2007 SP1/R2** および **System Center Essentials 2007 SP1/2010** をインストールし、管理サーバーアクションアカウントをドメインユーザー（ドメイン管理者ではないユーザー）とします。
- 2 管理対象システムに **Operations Manager エージェント** をインストールします（自動エージェントプッシュまたは手動インストール）。
- 3 エージェントのインストールを可能にするため、管理サーバーアクションアカウント（手順 1 に記載のドメインユーザー）をローカル管理グループの一部として追加します。
- 4 管理対象システムの検出と監視を開始し、管理サーバーアクションアカウントをローカル管理グループから外します。再起動して、ユーザーが管理者またはパワーユーザーでないことを確認します。
- 5 管理サーバーの **Dell Management Pack** をインポートします。
管理パックは、管理対象システムを再検出します（検出される時間は検出サイクル時間に依りて異なります）。

Dell CMC/DRAC MC の要件

スロット検出と相互作用を動作させるため、CMC/DRAC MC シャーシで RACADM を有効化します。詳細に関しては、support.jp.dell.com/manuals でご利用いただける『iDRAC6 および CMC のコマンドラインリファレンスガイド』を参照してください。

Dell Server Management Pack Suite v4.1 のインストール

管理パックをインポートする前に、依存する管理パックをまずインポートしてください。管理パックの依存性に関しては、表 1-3 を参照してください。

インポート前のタスク



メモ：Dell Server Management Packs 3.x がすでに SCOM にインストールされている場合、次の手順を実行する前にそれらの管理パックを削除してください。



メモ：Dell Server Management Packs 4.0 がすでに SCOM にインストールされている場合は、管理パックを削除する必要はありません。次の手順に従って、管理パックをバージョン 4.1 に直接アップグレードすることができます。

管理パックまたはユーティリティをインポートするには、SCOM Management Pack のインポートウィザードを使用します。


- 1 デルサポートサイト support.jp.dell.com から管理パック またはユーティリティ をダウンロードします。
- 2 ダウンロードしたファイル、**Dell_Server_Management_Pack_Suite_v4.1_A00.exe** を、ローカルシステムの一時フォルダにコピーします。一時フォルダは、例えば `C:¥Temp` です。
- 3 **Dell_Server_Management_Pack_Suite_v4.1_A00.exe** を実行し、管理パックまたはユーティリティを抽出します。デフォルトで、ファイルは `C:¥Dell Management Packs¥Server Mgmt Suite¥4.1` に抽出されます。

管理パックのインポート

管理パックをインポートするには、次の手順を実行します。

- 1 System Center Operations Manager Operations コンソール、または System Center Essentials コンソールを起動します。
- 2 ナビゲーションペインで、**管理** をクリックします。
- 3 **管理** を展開し、**管理パック** を右クリックして、**管理パックのインポート** を選択します。
- 4 **追加** をクリックします。**ディスクから追加** オプションを選択します。
- 5 Dell Server Management Pack Suite 4.1 を抽出した管理パック / ユーティリティファイルの場所を入力、または参照します。デフォルトディレクトリにファイルを抽出した場合、管理パックは `C:¥Dell Management Packs¥Server Mgmt Suite¥4.1` にあります。
- 6 インポートする管理パック / ユーティリティを選択し、**開く** をクリックします。

管理パックのインポート 画面 が表示され、選択した管理パック / ユーティリティが **インポートリスト** に表示されます。

 **メモ** : Dell Server Management Pack Suite v4.0 の管理パックのいずれかが存在する場合、同じインポートセッションでそれらをアップグレードする必要があります。

- 7 **インストール** をクリックします。

Dell Server Management Pack Suite v4.1 のインポート後のタスク

管理パックのインポート後は、次のインポート後のタスクを実行する必要があります。

- 1 シャーシスロットサマリおよびサーバーモジュールの検出のために CMC MP 4.1 を設定します。詳細については、[サーバーモジュールとシャーシスロットサマリの検出のための Dell Chassis Management Controller Management Pack](#) の設定を参照してください。
- 2 アドバンス電源制御および LED 識別表示タスクを作成します。詳細については、[アドバンス電源制御と LED 識別表示タスクの作成](#)を参照してください。

サーバーモジュールとシャーシスロットサマリの検出のための Dell Chassis Management Controller Management Pack の設定

RunAs プロファイル および **RunAs アカウント** を作成し、CMC および DRAC/MC サーバーモジュールとシャーシスロットサマリを検出するために必要な権限を持つユーザーを選択します。

- 1 CMC および / または DRAC/MC シャーシに接続する権限を持つ **シンプル RunAs アカウント** を作成します。CMC および / または DRAC/MC シャーシが Active Directory (AD) と連動するように設定されている場合、AD ユーザー資格情報で **シンプル RunAs アカウント** を作成することもできます。ユーザー資格情報の設定に、**ベーシック** または **ダイジェスト RunAs アカウント** タイプも使用可能です。
- 2 **CMC シャーシ** と **DRAC/MC シャーシ** の RunAs アカウントと、Dell CMC MP4.1 に含まれている **Dell CMC ログインアカウント** と **Dell DRAC/MC ログインアカウント** の RunAs プロファイルとを関連付けます。Dell CMC または Dell DRAC/MC クラスそれぞれに対して、ターゲット設定します。SCOM 2007 R2/SCE 2010 では、RunAs アカウント設定で **高セキュリティ** オプションを選択し、特定の管理サーバーに対して選択的に設定を分配することができます。
- 3 CMC のサーバーモジュールとシャーシスロットサマリの検出を有効化するには、**Dell CMC スロット検出** ルールを有効化します。これはデフォルトで無効になっています。
- 4 DRAC/MC のサーバーモジュールと利用可能なスロットの検出を有効化するには、**Dell DRAC/MC スロット検出** ルールを有効化します。



メモ: スロット検出後、RunAs アカウントと RunAs プロファイル間のリンクを削除、またはスロット検出ワークフローを無効化すると、検出されたスロットは古いデータを維持します。

アドバンス電源制御と LED 識別表示タスクの作成

アドバンス電源制御と LED 識別表示タスクは、デフォルトの BMC 資格情報を使用します。これは、変更することができないデフォルトのオペレーティングシステムおよび BMC のインストールパス (C:¥Program Files¥Dell¥SysMgt¥bmc) です。

お使いのシステムがこれらから外れる場合、管理サーバーに BMU 2.0 以降をインストールし、**Dell サーバーの BMC** をターゲットにする **オーソリング** ペインで新規コンソールを作成します。

△ **注意**：次の手順では、タスクを作成し、パスワードをプレーンテキストで提供する必要があります。BMC がボックスにインストールされていない場合、ダイアログボックスにコマンド全体を表示するエラーが SCOM コンソールに表示され、パスワードを明らかにする場合があります。作成したこのタスクを含む上書き管理パックをディスクにエクスポートする場合、エクスポートした管理パックを汎用テキストエディタ、または SCOM オーソリングコンソールで開き、パスワードをプレーンテキストで表示することができます。新規タスクは必要不可欠な場合にのみ作成し、続行する前に上記のセキュリティ面を考慮するようにしてください。

新しいタスクを作成するには、次の手順を実行します。

- 1 **オーソリング** ペインの **管理パックオブジェクト** 下にある **タスク** を右クリックし、**新規タスクの作成** を選択します。
- 2 **タスクの種類** 画面で、**コンソールタスク** 下にある **コマンドライン** を選択します。
- 3 宛先の管理パックを選択し、**次へ** をクリックします。
- 4 **タスク名**、**説明** を入力し、**タスクターゲット** に **Dell Windows サーバー** を選択して、**次へ** をクリックします。
コマンドライン 画面が表示されます。
- 5 **アプリケーション** フィールドに **ipmitool.exe** アプリケーションのパス (管理サーバー上で BMU がインストールされている場所へのパス) を入力します。例えば、C:¥Program Files¥Dell¥SysMgt¥bmc¥ipmitool.exe (デフォルトの BMU パスは、お使いのオペレーティングシステムの言語により異なる場合があります) になります。2 つの LED 識別表示タスクの場合、アプリケーションパスは C:¥Program Files¥Dell¥SysMgt¥bmc¥ipmish.exe (デフォルトの BMU パスは、お使いのオペレーティングシステムの言語により異なる場合があります) となります。
- 6 電源制御タスクの場合、**パラメータ** フィールドに次の形式でコマンドラインパラメータを入力します。
 - -I lan -H と入力し、ドロップダウンメニューから **IPMI 機能ありのリモートアクセス IP** を選択します。

- -U <ユーザー名> -P <パスワード> -k <kgkey> <IPMI タスク文字列> と入力します。
- <IPMI タスク文字列> を次のいずれかのオプションと置き換えます。
 - power status (電源ステータスの確認 タスク)
 - power on (電源オン タスク)
 - power soft (正常電源オフ タスク)
 - power off (強制電源オフ タスク)
 - power cycle (パワーサイクル タスク)
 - power reset (電源リセット タスク)
 - identify on (LED 識別表示オン タスク)
 - identify off (LED 識別表示オフ タスク)

コマンドラインパラメータの入力例：

```
-I lan -H $Target/Property[Type="Dell.WindowsServer.Server"]/RemoteAccessIP$ -U root
-P <password> -k <kgkey> power status
```

- 7 LED のオン / オフのタスクについては、次の形式でコマンドラインパラメータを入力します。
 - -ip と入力し、ドロップダウンメニューから **IPMI 機能ありのリモートアクセス IP** を選択します。
 - -u <ユーザー名> -p <パスワード> -k <kgkey> <IPMI タスク文字列> と入力します。
- 8 **作成** をクリックしてタスクを作成します。作成する新しい BMC タスクごとに、この手順を繰り返します。

以前の管理パックからのアップグレード

アップグレードは、Operations Console にアップグレードされた管理パックをインポートする時にのみ行われます。[Dell Server Management Pack Suite v4.1 のインストール](#)で説明される手順に従って、新規管理パックをアップグレードします。この項では、実行する必要がある特定の[アップグレード後のタスク](#)も含まれています。

Dell Server Management Pack Suite v4.0 からのアップグレード

Dell Server Management Pack Suite v4.0 から Dell Server Management Pack Suite v4.1 へアップグレードすることができます。



メモ：Dell Server Management Pack Suite v4.0 のいずれかが管理サーバーにある場合は、同じインポートセッション内でそれらを v4.1 にアップグレードする必要があります。

アップグレード後のタスク

Dell Server Management Pack Suite v4.0 から Dell Server Management Pack Suite v4.1 にアップグレードする場合、**ネットワークインタフェースグループ** および **iDRAC** 行は **サーバー** 状態ビューに表示されません。これらの行を表示するには、ビューをカスタマイズして行を追加する必要があります。

ビューをカスタマイズするには、次の手順を実行します。

- 1 **Operations Console** で、サーバー状態ビューを選択し、サーバーペインを右クリックします。
- 2 メニューからビューのカスタマイズを選択します。ビューのカスタマイズ画面が表示されます。
- 3 ネットワークインタフェースグループと iDRAC を選択します。
- 4 上矢印をクリックして、これらの行が名前行の次に表示されるように順序を移動させます。
- 5 **ビューのカスタマイズ** 画面を閉じます。

Dell Server Management Pack 3.x からのアップデート

Dell Server Management Pack 3.x からは Dell Server Management Pack Suite 4.1 にアップデートすることはできません。対応する旧バージョンの Dell Server MP を削除し、その後 Dell Server Management Pack Suite v4.1 を Systems Center Operations Manager にインストールする必要があります。Dell Server Management Pack Suite v4.1 のインポート手順については、[Dell Server Management Pack Suite v4.1 のインストール](#)を参照してください。



メモ：Dell Server Management Pack Suite v4.1 を構成する管理パックのいずれかをインポートする前に、Dell Server Management Pack 3.x (Dell.Connections.001.mp) を削除するようにしてください。



注意：Dell Management Packs 3.x を削除すると、これまで Operations データベースから収集してきた監視データのすべてを失う場合があります。

Dell Server Management Pack Suite v4.1 のインストール

管理パックをアンインストールする前に、まず依存する管理パックおよび上書き（ある場合）を削除し、それから特定の管理パックを削除する必要があります。依存性の詳細については、表 1-3 を参照してください。

管理パックの削除

管理パックまたはユーティリティを削除するには次の手順を実行します。

- 1 Systems Center Operations Manager 2007 Operations Console で、**管理** → **管理パック** と選択します。
- 2 **管理パック** ペインで削除したい Dell Management Pack / ユーティリティを選択します。
- 3 選択した Dell Management Pack / ユーティリティを右クリックして、**削除** をクリックします。

管理パック / ユーティリティの削除後、デルは SCOM コンソールを一度閉じて、また開くことを推奨します。



メモ：管理パックを削除すると、一部のユーザー役割の範囲に影響する可能性があります。

Dell CMC Management Pack 4.1 を削除する前に

Dell CMC Management Pack には、CMC および DRAC/MC 用にそれぞれに 1 つずつ **RunAs プロファイル** が含まれています。作成するすべての **RunAs アカウント** の関連性は、

Microsoft.SystemCenter.SecureReferenceOverride 管理パックに追加されます。**Microsoft.SystemCenter.SecureReferenceOverride** への依存性を持つ類似した **RunAs アカウント** の関連性が含まれる CMCManagement Pack の削除は、拮抗の原因となります。

CMC Management Pack を削除するには、次の手順を実行します。

- 1 System Center Operations Manager Operations コンソール、または System Center Essentials コンソールを起動します。
- 2 ナビゲーションペインで、**管理** をクリックします。
- 3 管理を展開し、管理パックを右クリックします。
- 4 **Microsoft.SystemCenter.SecureReferenceOverride Management Pack** を選択し、**エクスポート** をクリックしてローカルファイルとして保存します。
- 5 **Microsoft.SystemCenter.SecureReferenceOverride Management Pack** を削除します。

- 6 SCOM オーサリングコンソールで、次の上書きと参照を削除することによって保存した管理パックを編集します。
 - **状態モデル** に進み、**上書き** を選択します。
 - **Dell.ModularChassis.CMC** または **Dell.ModularChassis.DRACMC** 参照のある上書きをすべて削除します。
 - **ファイル** メニューを開き、**管理パックプロパティ** を選択して、**Microsoft.SystemCenter.SecureReferenceOverride** プロパティ 画面を開きます。
 - **参照タブ** をクリックし、**Dell.OutOfBand.CMC** 参照を削除します。
 - **ファイル** メニューを開き、**保存** を選択します。
- 7 編集済みの Microsoft.SC.SecureReferenceOverride Management Pack を再インポートします。

アクセス権限

Operations コンソールへのアクセス権は、SCOM で内部処理されます。これは、SCOM コンソールの **管理** → **セキュリティ** 機能の **ユーザー役割** オプションで設定できます。割り当てられたプロファイルによって、実行できるアクションが決まります。セキュリティに関する考慮事項の詳細については、**System Center Essentials 2010** との利用が可能な『**Microsoft Operations Manager 2007 SP1/ Microsoft Systems Centre Essentials SP1 R2/Microsoft Systems Center Essentials 2010** オンラインヘルプ』を参照してください。

Dell Server Management Pack Suite の操作について

概要

この章では、Dell Client Management Pack バージョン 4.1 を使用して Microsoft Systems Center Operations Manager (SCOM) または Systems Center Essentials (SCE) で実行できるさまざまな操作について説明します。

Dell Server Management Pack Suite バージョン 4.1 では次の操作が可能になります。

- 1 Windows サーバー、Dell Modular Chassis、Dell Remote Access Controllers (DRAC)、Chassis Management Controllers (CMC)、および内蔵 DRAC (iDRAC) の検出とグループ化。詳細については、[検出およびグループ化](#)を参照してください。
- 2 検出された Dell システムとネットワークデバイスの監視。詳細については、[監視](#)を参照してください。
- 3 検出された Dell システムとネットワークデバイスにおける様々なタスクの実行。詳細については、[タスク](#)を参照してください。
- 4 OpenManage Windows イベントログ、Dell サーバー BIOS、ファームウェア、および RAID 構成の各種既製レポートの作成。詳細については、[レポート](#)を参照してください。
- 5 検出された Dell システムとデバイスの検出、監視、およびイベント処理のカスタマイズ。詳細については、[Dell Server Management Pack Suite のカスタマイズ](#)を参照してください。

Web Console

Web Console サーバーにより、Operations Console の代わりにブラウザを使用した、Dell Server Management Pack Suite での Dell デバイスの監視および管理が可能になります。Operations Console をインストールせずに、Web Console サーバーを使用できます。

Web Console には次の使用制限があります。

- すべての Management Pack に対して、監視機能のみを提供
- 管理、オーサリング、およびレポート機能は使用不可
- カスタムビューは使用不可

- **警告** ビューには最初の 200 個の警告のみを表示
- Server Management Pack での制限：
 - ESM ログをクリアするタスクのみを表示
 - Information-On 上書きユーティリティをインポートした後でも、情報警告が抑制される
- DRAC および CMC Management Pack での制限：
 - Console 起動タスクは使用不可

検出およびグループ化

Dell Windows システムは、SCOM エージェント管理インフラストラクチャを介して検出されます。Dell OpenManage Server Administrator がインストールされていない、または 5.5 より前の Server Administrator がインストールされている Dell システムは、**Dell 管理対象外** としてグループ化されます。

Dell デバイスを検出するには、Operations Console の **管理** セクション下の **エージェント管理** ビューにデバイスが表示される必要があります。

Dell システムの検出

Dell システムを検出するには、次の手順を実行します。

- 1 SCOM 管理グループの SCOM 管理者 の役割を担うアカウントでシステムにログインします。
- 2 操作コンソールで **管理** をクリックします。
- 3 ナビゲーションペイン下部の **検出ウィザード** をクリックします。**コンピュータとデバイス管理ウィザード** が起動されます。
- 4 **Windows コンピュータ** を選択し、**次へ** をクリックします。
- 5 Dell モジュラーおよびモノリシックシステムを検出するには、**自動コンピュータ検出** を選択して、**次へ** をクリックします。
 - a **管理者アカウント** 画面でユーザーアカウントの詳細を入力し、**検出** をクリックします。**検出の進行状況** ページが表示されます。
 - b **管理するオブジェクトの選択** ページで、管理するデバイスを選択して、**次へ** をクリックします。
 - c **概要** 画面上で、**エージェントインストールディレクトリ** へのパスを指定し、**エージェントアクションアカウント** の資格情報を入力して、**完了** をクリックします。



メモ：計装コンポーネントを備えていない Dell windows システム、および Server Administrator 5.5 より前のバージョンを実行している Dell windows システムは、Dell 管理対象外のシステムとしてグループ化されます。

DRAC および CMC デバイスの検出

Dell DRAC および CMC デバイスを検出するには、次の手順を実行します。

- 1 **Dell システムの検出**で説明されている手順 1～3 に従います。
- 2 **コンピュータとデバイス管理ウィザード** 画面で **ネットワークデバイス** を選択し、**次へ** をクリックします。
- 3 スキャンする IP アドレス範囲の **開始** アドレスと **終了** アドレスを入力し、SNMP コミュニティを入力して、**SNMP バージョン** を選択します。
- 4 **検出** をクリックします。**検出の進行状況** ページが表示されます。
- 5 **管理するオブジェクトの選択** ページで、管理するデバイスを選択して、**次へ** をクリックします。
- 6 **完了** をクリックします。



メモ：検出インターバルを、操作コントロールの認証ペインからオーバーライドできます。iDRAC 6 モジュールの検出間隔を上書きするには、両方の検出機能（**DRAC5/iDRAC 検出** および **Dell Integrated Remote Access (モジュール) 検出**) の検出間隔を変更します。

Dell ハードウェアの検出とグループ化

表 3-1 では、Dell Server Management Pack Suite によるハードウェアの検出とグループ化に関する詳細がリストされています。

表 3-1. Dell ハードウェアの検出とグループ化

分類	SCOM Console のグループ名	ハードウェアタイプ
Windows サーバー	<ul style="list-style-type: none">• Dell モノリシックサーバー• Dell モジュールサーバー	OpenManage Server Administrator (バージョン 5.5 およびそれ以降) を実行する Dell PowerEdge ならびに PowerVault
Dell Modular Chassis Remote Access	Dell Chassis Management Controller (親グループ) : <ul style="list-style-type: none">• Dell Modular Chassis Remote Access (子グループ)• Dell CMC (子グループ)	ネットワーク上の CMC、DRAC/MC インスタンス、および CMC と DRAC/MC のシャーシスロットサマリとサーバーモジュール

表 3-1. Dell ハードウェアの検出とグループ化 (続き)

分類	SCOM Console のグループ名	ハードウェアタイプ
Dell Remote Access Controller	Dell Remote Access Controller (親グループ) : <ul style="list-style-type: none"> • Dell Remote Access 4 (子グループ) • Dell Remote Access 5 (子グループ) • Dell Integrated Remote Access Modular (子グループ) • Dell Integrated Remote Access Monolithic (子グループ) 	DRAC 4、DRAC 5、iDRAC モジュール、および iDRAC 6 モジュールインスタンス

メモ : Dell Remote Access Controller Management Pack は、iDRAC ハードウェアの制限により、xx0x iDRAC モジュールコントローラの帯域外システムの検出をサポートしていません。iDRAC xx0x モジュールコントローラを管理するには、Scalable Server Management Pack を使用します。xx0x iDRAC は、サーバーインベントリの一部として帯域内で検出されます。

Dell Server Management Pack によって検出されたオブジェクト

表 3-2. Dell オブジェクトの検出

検出オブジェクト	説明
Dell サーバー BIOS 詳細検出	各 Dell システムの BIOS オブジェクトを検出します。
Dell サーバー検出	Dell システムを分類し、基本属性を自動投入します。
Dell Server Hardware Components Discovery	ハードウェアコンポーネントをグループレベル (センサー、プロセッサ、メモリ、および電源装置) で検出し、お使いの Dell システムの属性 (OpenManage Server Administrator、DRAC、IPMI 機能搭載の Remote Access IP などの起動ポイント) も検出します。
Dell OpenManage Software Services Discovery	Dell OpenManage Server Administrator Windows サービスおよび WMI のオブジェクトを検出します。
Dell サーバーメモリ詳細検出	Dell システムのメモリインスタンスを検出します。
Dell サーバー電源装置詳細検出	Dell システムの電源装置インスタンスを検出します。

表 3-2. Dell オブジェクトの検出（続き）

検出オブジェクト	説明
Dell サーバープロセッサ詳細検出	Dell システムのプロセッサインスタンスを検出します。
Dell サーバーストレージ詳細検出	Dell システムの完全なストレージ階層を検出します。
Dell サーバーネットワークインタフェース検出	Dell システムのネットワークインタフェースインスタンスを検出します。
Dell Windows サーバーネットワークインタフェース詳細検出モジュール	Dell システムの物理インスタンスおよびチーム化されたネットワークインタフェースインスタンスを検出します。
Dell Windows サーバーネットワークインタフェースグループ検出モジュール	ネットワークインタフェースグループを検出します。
Dell CMC 検出	サポートされている Dell CMC すべてを検出します。
Dell CMC スロット検出	サポートされている Dell CMC サーバードモジュールのすべて、およびシャーシスロットサマリを検出します。
Dell CMC シャーシからモジュラーサーバーへの相互作用検出	CMC シャーシと Dell モジュラーシステムの相互作用を検出します。
Dell DRAC/MC シャーシからモジュラーサーバーへの相互作用検出	DRAC/MC シャーシと Dell モジュラーシステムの相互作用を検出します。
Dell DRAC/MC 検出	サポートされている Dell DRAC/MC をすべて検出します。
Dell DRAC/MC スロット検出	サポートされている Dell DRAC/MC サーバードモジュールのすべて、およびシャーシスロットサマリを検出します。
Dell Integrated Remote Access モジュラーグループ検出	Dell Integrated Remote Access モジュラーグループを検出し、Dell Integrated Remote Access Controller（モジュラー）を投入します。
Dell Remote Access グループ検出	Dell Remote Access グループを検出し、Dell Remote Access Controller を投入します。
Dell Integrated Remote Access モノリシックグループ検出	Dell Integrated Remote Access モノリシックグループおよび Dell Integrated Remote Access Controller（モノリシック）を検出します。

表 3-2. Dell オブジェクトの検出 (続き)

検出オブジェクト	説明
Dell Remote Access 4 グループ検出	Dell Remote Access 4 グループを検出し、Dell Remote Access Controller 4 を投入します。
Dell Remote Access 5 グループ検出	Dell Remote Access 5 グループを検出し、Dell Remote Access Controller 5 を投入します。
Dell Integrated Remote Access モジュール検出	モジュラーシステム用 Dell Integrated Remote Access Controller のシャーシ名とシャーシサービスタグを検出します。
DRAC5/iDRAC 検出	サポートされている Dell Remote Access 5 Controller および Integrated Remote Access Controller をすべて検出します。
DRAC4 検出	サポートされている Dell Remote Access 4 Controller をすべて検出します。
Dell 管理対象外サーバグループ検出	Dell 計装がない、または計装のバージョンが必要なバージョンより前のものであるために監視されていない Dell システムを検出します。

監視

Dell Server Management Pack Suite v4.1 では、検出された Dell システムとネットワークデバイスを監視することが可能になります。重要度のインジケータは、ネットワーク上の Dell デバイスの状態を監視するために役立ちます。

Dell デバイスの監視には、次のタスクが含まれます。

- Dell モジュラーおよびモニリシックシステムで実行されている Dell OpenManage Server Administrator (Server Administrator) エージェントによって提示されたイベントを処理し、Operations コンソールで警告を表示。
- Dell モジュラーおよびモニリシックシステム、およびそれらのコンポーネントの状態の両方を、定期的、またはイベントの発生時に監視。
- CMC、DRAC/MC、および Dell Remote Access Controller の SNMP トラップとナレッジベースを処理。
- CMC、DRAC/MC、および Dell Remote Access Controller の状態の監視。これらはどちらも 6 時間ごとに定期的に、および SNMP トラップの発生時に行われます。






Dell システムとデバイスは、Dell Server Management Pack Suite が SCOM Console が提供する様々なビューを介して監視することができます。これらのビューには次が含まれます。

- [警告ビュー](#)
- [ダイアグラムビュー](#)
- [状態ビュー](#)
- [パフォーマンスおよび電源監視ビュー](#)

重要度のインジケータ

表 3-3 では、Operations コンソールにおいて検出された Dell デバイスのステータスの重要度を示すアイコンをリストします。

表 3-3. 重要度のインジケータ

アイコン	重要度
	正常 / OK。 コンポーネントは予想どおりに動作しています。
	警告 / 非重要。 プローブまたはその他の監視デバイスによって、許容範囲外のコンポーネントの読み取り値が検知されました。そのコンポーネントは現在のところまだ機能しているようでも、そのうち故障する可能性があります。また、損なわれた状態で機能している可能性もあります。
	重大 / 失敗 / エラー。 コンポーネントが故障しているか、故障が切迫しています。即座に対処する必要があり、場合によってはコンポーネントの交換が必要です。データが消失した可能性もあります。
	正常性の状態は、このコンポーネントについては適用外です。
	サービスを利用できません。

警告ビュー

このビューは、Dell Windows システム、Dell CMC および DRAC/MC、ネットワークインタフェース、Dell Remote Access デバイスからのハードウェアとストレージイベントを管理するために利用できます。

Dell Server Management Pack Suite では、次の警告とトラップが表示されます。

- Dell PowerEdge および PowerVault システムの Dell OpenManage Server Administrator から受け取ったイベントの警告。
- Dell PowerEdge システムの Broadcom および Intel ネットワークインタフェースカードから受け取ったイベントのリンクアップ / リンクダウン警告。

- **Dell.WindowsServer.InformationalAlertsOn.mp.** をインポートする場合、情報提供の警告。
情報提供の警告はデフォルトでオフになっています。
Dell.WindowsServer.InformationalAlertsOn.mp. インポート後にオンにする必要があります。
- DRAC 4、DRAC 5、iDRAC 6、DRAC/MC、および CMC デバイスから送付される SNMP トラップ。
- Dell システムのプラットフォームイベントトラップ (PET)。

Operations コンソールでの警告の表示

Operations コンソールで警告を表示するには、次の手順を実行します。

- 1 Operations コンソールを起動して、**監視** をクリックします。
- 2 **Dell** → **警告ビュー** とクリックします。

次の個別の警告ビューが表示されます。

- **CMC** — 検出された CMC デバイスからの SNMP トラップを表示
 - **ネットワークインタフェース警告** — 検出された NIC からのリンクアップおよびリンクダウン警告を表示
 - **DRAC/MC** — 検出された DRAC/MC デバイスからのイベントおよび SNMP トラップを表示
 - **PET トラップ** — 検出された Dell システムからのプラットフォームイベントトラップを表示
 - **Remote Access** — DRAC 4、DRAC 5、iDRAC 6 デバイスからの SNMP トラップを表示
 - **サーバー** — Dell システムからの Server Administrator 警告、Dell システムの NIC からのリンクアップおよびリンクダウン警告を表示
- 3 警告ビューのいずれかを選択します。

個々の警告ビューそれぞれの右ペインには、警告の重要度、解決状態、またはユーザーに割り当てられた警告など、指定された基準を満たす警告を表示します。

- 4 警告を選択し、**警告詳細** ペインで詳細を表示します。

警告ビューのいずれかにリストされている警告を選択すると、それに関連したタスクが **アクション** ペインに表示されます。タスクの詳細に関しては、[タスク](#)を参照してください。



メモ：Remote Access view (リモートアクセスビュー) は、DRAC 4、DRAC 5、および iDRAC 6 の警告を表示します。

ダイアグラムビュー

ダイアグラムビューは、Dell Server Management Pack Suite が管理する Dell Windows システム、Dell CMC および DRAC/MC、および Dell Remote Access デバイスすべての階層図およびグラフィック描写を提供します。ダイアグラムビューでは、Dell Server Management Pack Suite によって形成される写実的なアイコンが表示されます。

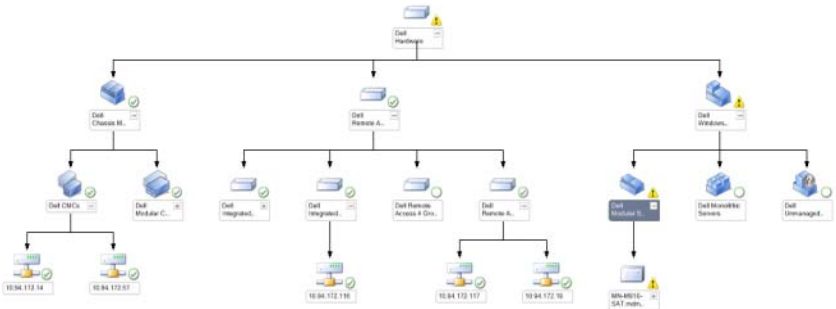
Operations Console でダイアグラムを表示するには、次の手順を実行します。

- 1 Operations Console を起動して、**監視** をクリックします。
- 2 左側の **監視** ペインで、Dell フォルダに移動し、次のビューを表示します。
 - **Chassis Management Controller グループのダイアグラムビュー**
 - **完全ダイアグラムビュー**
 - **Dell モジュラーシステムのダイアグラムビュー**
 - **Dell モノリシックシステムのダイアグラムビュー**
 - **Remote Access Controller グループのダイアグラムビュー**
- 3 ダイアグラムビューのいずれかを選択します。
右側のペインでは、選択した Dell デバイスの階層図とグラフィック描写が表示されます。
- 4 **詳細ビュー** ペインで詳細を表示するダイアグラム内のコンポーネントを選択します。

完全ダイアグラムビュー

図 3-1 は、**Dell ハードウェア** グループの完全なダイアグラムビューを示します。

図 3-1. Dell 完全ダイアグラムビュー - Detailed Management Pack



完全ダイアグラムビューには、SCOM または SCE が管理する全 Dell デバイスのグラフィック描写が表示されます。このビューでダイアグラム内の個々のデバイスやコンポーネントを展開して、その状態を確認できます。表示できる詳細は次の通りです。

- モジュラーおよびモノリシックシステム
- Chassis Management Controllers および DRAC/MC デバイス
- Remote Access Controller



メモ：Dell ハードウェアグループは、Base Management Pack で定義されています。

モジュラーおよびモノリシックシステム

モノリシックおよびモジュラーシステムのダイアグラムビューは、次の詳細を提供します。

- 物理インタフェースおよびチーミングされたネットワークインタフェース
- メモリ
- 電源装置（モノリシックシステムのみ）
- センサー
- プロセッサ
- Dell OpenManage ソフトウェアサービス
- ストレージコントローラ
- BIOS オブジェクト（インベントリのみ）
- iDRAC

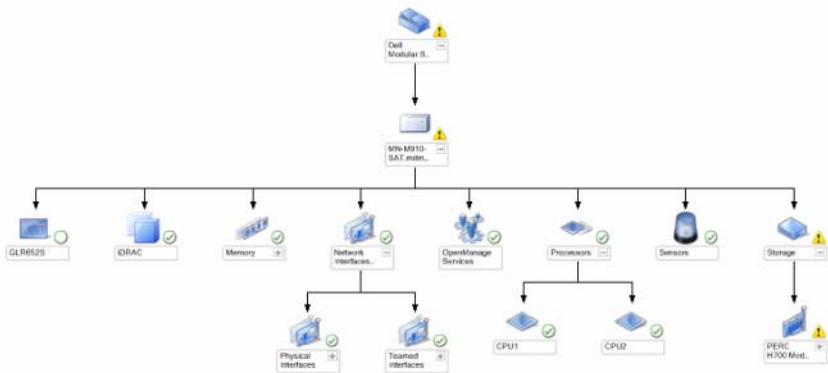


メモ：Operations コンソールの **アクション** ペインからデバイス/コンポーネント固有のタスクを実行できます。詳細については、[タスク](#)参照してください。

Dell モジュラーシステムのダイアグラムビュー

図 3-2 は、Dell モジュラーシステムのダイアグラムビューを示します。

図 3-2. Dell モジュラーシステムのダイアグラム - Detailed Management Pack

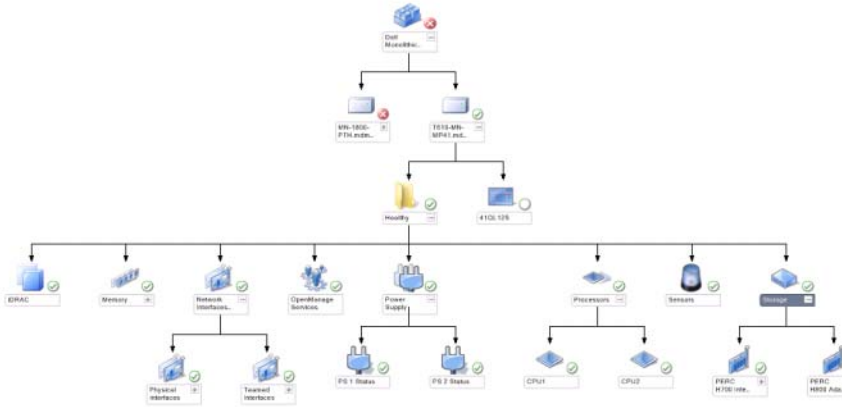


Dell モジュラーシステムのダイアグラムビュー は、すべての Dell モジュラーシステムのグラフィック描写が表示されます。このビューでダイアグラム内の個々のデバイスやコンポーネントを展開して、その状態を確認できます。

Dell モノリシックシステムのダイアグラムビュー

図 3-3 は Dell モノリシックシステムのダイアグラムビューを示します。

図 3-3. Dell モノリシックシステムのダイアグラム - Detailed Management Pack

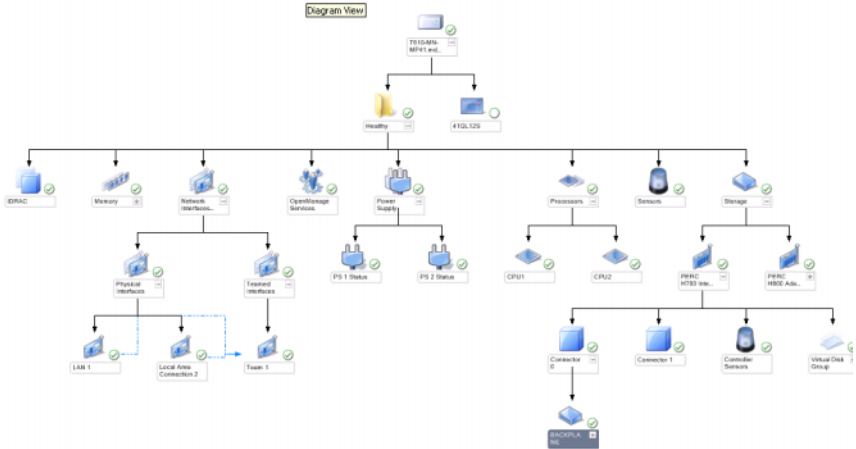


Dell モノリシックシステムのダイアグラムビュー は、すべての Dell モノリシックシステムのグラフィック描写が表示されます。このビューでダイアグラム内の個々のデバイスやコンポーネントを展開して、その状態を確認できます。

Dell サーバーインスタンスのダイアグラム

Dell システムを選択し、**Dell モジュラーシステム** または **Dell モノリシックシステムのダイアグラム** ビューから、そのシステムに固有なダイアグラムを表示します。

図 3-4. Dell サーバーインスタンスのダイアグラム - Detailed Management Pack



システム固有のダイアグラムは、次のコンポーネントのステータスを図示および表示します。

- メモリ
- 電源装置（モノリシックサーバーのみ）
- プロセッサ
- センサー
- OpenManage サービス
- ネットワークインタフェース
- ストレージコントローラ
- BIOS オブジェクト
- iDRAC

Detailed Management Pack は、メモリ、プロセッサ、および電源装置の各コンポーネントの詳細を表示します。

ストレージコントローラコンポーネント階層

Dell システムインスタンスのダイアグラムビューのいずれかから **ストレージ** コンポーネントを展開し、物理ディスク、コネクタ、および仮想ディスクなどのコンポーネントのステータスと状態を表示します。各コネクタインスタンスには、センサーおよび物理ディスクコンポーネントが含まれます。ただし、バックプレーンにはセンサーはありません。

ネットワークインタフェースコンポーネント階層

ネットワークインタフェースグループは、Dell Windows サーバーに Intel または Broadcom ネットワークカードが設置されており、有効化されている場合に *のみ* 作成されます。ネットワークインタフェースは **物理インタフェース** および **チーミングされたインタフェース** 下でグループ化されています。ネットワークインタフェースを無効化すると、そのインタフェースは次の検出サイクル時に削除されます。

チーミングされたネットワークインタフェースと、それに関連する物理ネットワークインタフェース間には、参照関係が作られます。参照関係は、**Dell Windows サーバーの物理関係およびチーミングされた関係の検出** の **相互作用の有効化** 属性を有効にした場合に *のみ* 表示できます。

相互作用の有効化 属性を有効にするには、次の手順を実行します。

- 1 **オーサリング** タブで、**オーサリング** → **管理パックオブジェクト** → **オブジェクト検出** と進みます。
- 2 画面上部で **スコープの変更** をクリックします。
- 3 **すべてのターゲットを表示** ラジオボタンをクリックし、**次を検索** フィールドに **Dell** と入力します。
- 4 **チーミングされたネットワークインタフェースインスタンス (ベーシック)** および **チーミングされたネットワークインタフェースインスタンス (エンリッチ)** をチェックして **OK** をクリックします。
- 5 **Dell Windows サーバー物理関係およびチーミングされた関係の検出ルール** を右クリック、→ **上書き** → **オブジェクト検出の上書き** → **クラスの全オブジェクト: チーミングされたネットワークインタフェースインスタンス (エンリッチ)** とクリックします。

上書きプロパティ のポップアップページで、**相互作用の有効化** をチェックし、上書き値を **True** に設定して **OK** をクリックします。

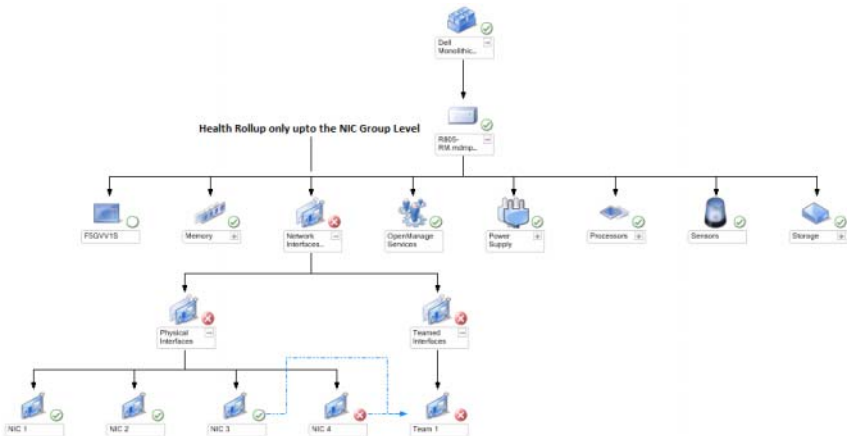
ダイアグラムビューにおけるネットワークインタフェースのステータスロールアップは **ネットワークインタフェース** グループレベルまでしか表示されません。例えば、Dell システムの 1 つ、または複数のネットワークインタフェースのみが重大、または非重大状態で、残りのコンポーネントが正常である場合、Dell システムは正常アイコンを表示し、**ネットワークインタフェース** グループは重大、または警告アイコンを表示します。

サーバーレベルでのステータスロールアップを表示するには、**ネットワークインタフェースグループから Dell サーバーへの状態のロールアップ** 依存性監視を有効化する必要があります。

監視を有効化するには、次の手順を実行します。

- 1 Operations Console で、**オーサリング** タブをクリックします。
- 2 左ペインで **監視** をクリックし、右ペインで **ネットワークインタフェースグループ** 監視を選択します。
- 3 **エンティティの状態** → **可用性** とクリックします。
- 4 **ネットワークインタフェースグループから Dell サーバーへの状態のロールアップ** を右クリックし、メニューオプションから、**上書き** → **監視の有効化** を選択します。

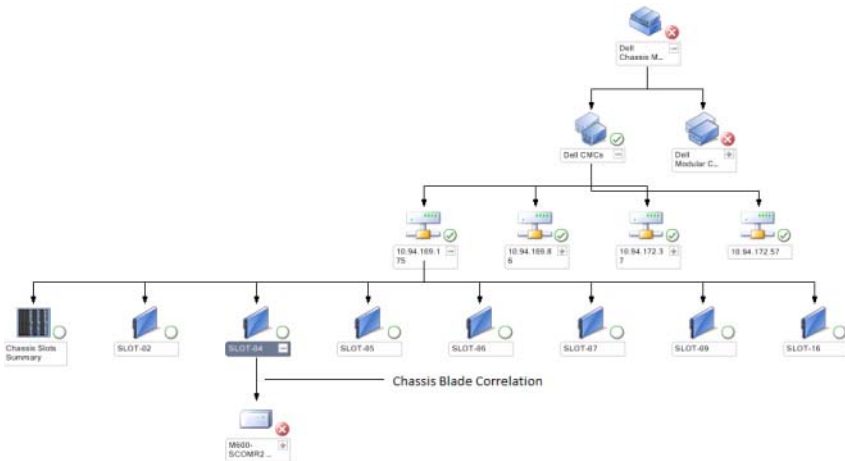
図 3-5. ネットワークインタフェースのダイアグラムビュー



Chassis Management Controller グループのダイアグラムビュー

図 3-6 は、Chassis Management Controller グループのダイアグラムビューを示します。

図 3-6. Chassis Management Controller グループのダイアグラム



Chassis Management Controller グループ のダイアグラムは、Dell CMC、DRAC/MC デバイスすべてのグラフィック描写を提供します。CMC の検出に関しては、[DRAC および CMC デバイスの検出](#)を参照してください。CMC はモジュラーシャーシで検出されます。


検出された CMC および DRAC/MC シャーシに関しては、シャーシスロットサマリで使用、または未使用スロットのサマリを表示することができます。


CMC および DRAC/MC シャーシでスロット名が変更された場合、その変更はダイアグラムビューに反映されます。


Chassis Management Controller グループ ダイアグラムは、Dell サーバーと CMC および DRAC/MC シャーシのサーバーモジュール間の相互作用も表示します。Dell システムはダイアグラムのスロット下に表示されます。



メモ：CMC スロット検出の RunAsAccount は、シンプル、ベーシック、またはダイジェスト認証のみで作成してください。詳細については、[サーバーモジュールとシャーシスロットサマリの検出のための Dell Chassis Management Controller Management Pack の設定](#)を参照してください。

 **メモ**：SCOM SP1 および SCE SP1 での CMC の検出には、資格証明書一式のみが考慮されます。SCOM 2007 R2 および SCE 2010 では、資格証明のグループまたはインスタンスレベルでの指定が可能で、柔軟性がより高くなります。

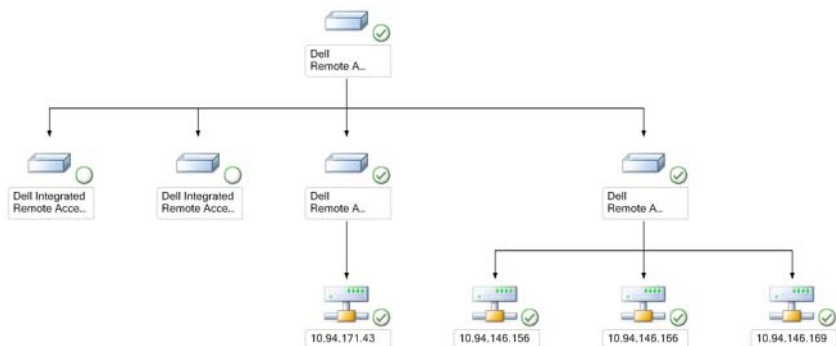
 **メモ**：モジュラーシステムの iDRAC ファームウェアは、CMC ファームウェアとの互換性があるようにしてください。互換性がない場合、サービスタグが「該当なし」と表示され、シャーシブレードの相互作用が不可能になる場合があります。

 **注意**：シャーシモジュラーサーバーの相互作用ユーティリティは、**CMC Management Pack** によって検出された **Dell CMC** または **DRAC/MC** と、サーバー管理パックによって検出された **Dell モジュラーシステム** 間の相互作用を検出します。相互作用を検出するため、ユーティリティはルート管理サーバー（RMS）にクエリを行います。多数のシャーシおよびモジュラーシステムを監視している場合、RMS へのクエリ数が増加し、CMC または DRAC/MC を管理する管理サーバーの CPU 使用率が高くなります。CPU 使用率は、相互作用が完了すると低下します。この動作は、**Dell CMC シャーシからモジュラーサーバーへの相互作用の検出** または **Dell DRAC/MC シャーシからモジュラーサーバーへの相互作用の検出** での検出サイクルごとに発生します。

Remote Access Controller グループのダイアグラムビュー

図 3-7 は、Remote Access Controller グループのダイアグラムを示します。

図 3-7. Remote Access Controller グループのダイアグラム



Remote Access Controller グループのダイアグラム ビューは、すべての DRAC 4、DRAC 5、および iDRAC 6（モジュラーとモノリシック）デバイスのグラフィック描写を提供します。**詳細ビュー** ペインで詳細を表示するダイアグラム内のコンポーネントを選択します。

状態ビュー

このビューは、Dell Windows システム、Dell CMC および DRAC/MC、そして Dell Remote Access デバイスの管理に使用できます。Operations コンソールの **Dell**→**状態ビュー** には、SCOM 2007 SP1/R2 によって管理されるネットワーク上の各 Dell デバイスのステータスを表示します。

状態ビューを表示させるデバイスグループを選択します。たとえば、Dell モノリシックおよびモジュラーシステムのステータスを表示するには、**サーバー** をクリックします。次のグループのステータスを表示することができます。

- CMC
- サーバー
- DRAC 4
- DRAC 5
- DRAC/MC
- iDRAC

コンポーネントの正常性情報は、コンポーネントに関連付けられる未解決の警告をレビューすることで取得されます。表 3-3 は、Dell Server Management Pack Suite v4.1 で使用されるさまざまなコンポーネントの状態と対応する重要度レベルについて、説明しています。

パフォーマンスおよび電源監視ビュー

パフォーマンスと電源監視を Operations Console で表示するには、次の手順を実行します。

- 1 Operations コンソールを起動して、**監視** をクリックします。
- 2 左側の**監視** ペインで、**Dell**→**パフォーマンスと電源監視** とクリックして次のビューを表示します。
 - 周辺温度
 - 電源供給ごとのアンペア数
 - エネルギー消費量
 - ピークアンペア数
 - ピーク電力
 - 物理ネットワークインターフェース
 - 電力消費量（ワット単位）
 - 電力消費量（BTU/時単位）
 - チェミングされたネットワークインターフェース



メモ：電力監視は、特定の属性に対して、電力監視機能が有効になっている Dell システムで利用できます。



メモ：チーミングされたネットワークインタフェース、および物理ネットワークインタフェースのインスタンスは、詳細 MP が存在する場合にのみ表示されます。

- 3 個々のパフォーマンスビューからカウンタを選択し、時間範囲（必須値）を選択します。収集されるデータは、各システムに対して、グラフィック形式で表示されます。

ユニットモニターは、2 つの連続した周期にわたってパフォーマンスカウンタを監視し、しきい値の範囲内に収まっているかどうかを確認します。しきい値を超えると、サーバーの状態が変化し、警告が生成されます。ユニットモニターは、デフォルトで無効になっています。Operations Console の **Dell Windows サーバーオブジェクトの監視** 下にある **オーサリング** ペインから、しきい値を上書き（有効化または変更）できます。

パフォーマンス情報の収集に関する詳細は、[パフォーマンス収集ルール](#)を参照してください。

タスク

タスクは、操作コンソールの **処置** ペインから実行できます。いずれかの Dell ダイアグラムビューでデバイスやコンポーネントを選択すると、関連タスクが **処置** ペインに表示されます。

すべてのタスクは、ダイアグラムビュー、状態ビュー、または警告ビューから実行できます。

Dell Management Pack を使用して実行できる Dell タスクのサマリは、表 3-4 で説明されています。

表 3-4. SCOM 2007 SP1/R2 用管理パックを使用した Dell タスク

Dell タスク	説明
Dell モジュラーおよびモニリシックシステムのタスク	
ESM ログのクリア	対象システムの Embedded System Management (ESM) ログの内容をバックアップし、ESM ログ ファイルをクリアします。
Server Administrator の起動	Dell OpenManage Server Administrator を起動します。
Remote Desktop の起動	選択したシステムの Remote Desktop を起動します。
電源ステータスの確認	システムの全体的な電源ステータスを確認します。
強制電源オフ	オペレーティングシステムをシャットダウンせずに、システムの電源をオフにします。

表 3-4. SCOM 2007 SP1/R2 用管理パックを使用した Dell タスク (続き)

Dell タスク	説明
帯域内 Dell Remote Access Console の起動	帯域内で検出された DRAC の DRAC Console を起動します。
電源の入れ直し	電源をオフにして、しばらくしてから電源を再投入します。
正常電源オフ	オペレーティングシステムをまずシャットダウンしてから、システムの電源をオフにします。
電源オン	システムの電源をオンにします。このオプションはシステムがオンの状態でも利用可能です。
電源リセット	システムの電源をオフにしてから、再度オンにします。
LED 識別表示オン	選択したシステムの識別 LED を 255 秒間オンにします。
LED 識別表示オフ	選択したシステムの識別 LED をオフにします。
DRAC 4/ DRAC 5/ iDRAC タスク	
Dell Remote Access Console の起動	検出された DRAC の DRAC Console を起動します。
Dell CMC、DRAC/MC タスク	
Dell CMCConsole の起動	CMC Console を起動します。
Dell モジュラーシャーシ Remote Access Console の起動	DRAC/MC Console を起動します。

Dell モジュラーおよびモノリシックシステムのタスク

ESM ログのクリア

Server Administrator Embedded Server Management (ESM) ログは、ハードウェアログとも呼ばれ、エラー修正コード (ECC)、システムリセットおよび起動、プローブしきい値の変更などのハードウェアによって生成されるすべてのシステムイベントの一覧を管理します。ハードウェアエラーの発生時やシステムが正常に動作していない場合に、このログを参照することができます。

ESM ログのクリア タスクを行うには、次の手順を実行します。

- 1 Operations Console で、ダイアグラムビュー、状態ビューまたは警告ビュー に移動します。
- 2 ダイアグラムビュー、状態ビュー、または警告ビューの警告から希望の Dell システムを選択します。

- 3 **アクション** ペインの **Dell Windows サーバータスク** 下にある **ESM ログのクリア** をクリックします。**タスクの実行** ウィンドウが表示されます。
- 4 **実行** をクリックして、選択したデバイスの **ESM ログ** をクリアします。
ESM ログのクリア タスクを実行する時、タスク実行画面にはタスクの開始結果だけが表示され、タスク実行の結果は表示されません。たとえば、タスク実行画面には、**ESM ログ** がクリアされなくても、正常に行われたという結果が表示される場合があります。これは、**ESM ログのクリア** タスクの開始が正常に行われたことを意味します。

Server Administrator の起動

Operations Console から Server Administrator を起動するには、次の手順を実行します。

- 1 Operations Console で、Dell ダイアグラムビュー、状態ビューまたは警告ビュー に移動します。
- 2 ダイアグラムビュー、状態ビュー、または警告ビューの警告から希望の Dell システムを選択します。
- 3 **アクション** ペインの **Dell Windows サーバータスク** 下にある **Server Administrator の起動** をクリックします。



メモ : Dell Management Pack タスクは、Internet Explorer でリモートコンソールを起動します。

Remote Desktop の起動

Operations Console から Remote Desktop を起動するには、次の手順を実行します。

- 1 Operations Console で、Dell ダイアグラムビュー、状態ビューまたは警告ビュー に移動します。
- 2 ダイアグラムビュー、状態ビュー、または警告ビューの警告から希望の Dell システムを選択します。
- 3 **アクション** ペインの **Dell Windows サーバータスク** 下にある **Remote Desktop の起動** をクリックします。



メモ : Remote Desktop の起動は、管理ノードで Remote Desktop が手動で有効化されている場合にのみ可能です。

電源ステータスの確認

電源ステータスを確認して、IPMI シェルを介した電源制御タスクを実行できます。

システムの電源ステータスをチェックするには、次の手順を実行します。

- 1 **Operations Console** で、**Dell ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**または**警告ビュー** に移動します。
- 2 **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または**警告ビュー**の警告から希望の **Dell システム**を選択します。
- 3 **アクション** ペインで、**Dell Windows サーバータスク** → **電源ステータスの確認** と選択します。

パワーサイクル

このタスクを使用して、**Dell システム**への電源をオフにして、しばらくしてから電源を再投入することができます。

パワーサイクルを行うには、次の手順を実行します。

- 1 **Operations Console** で、**Dell ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**または**警告ビュー** に移動します。
- 2 **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または**警告ビュー**の警告から希望の **Dell システム**を選択します。
- 3 **アクション** ペインで、**Dell Windows サーバータスク** → **パワーサイクル** と選択します。

強制電源オフ

このタスクを使用して、オペレーティングシステムをシャットダウンすることなくシステムの電源を切ることができます。

システムの電源を切るには、次の手順を実行します。

- 1 **Operations** コンソールで、**Dell ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**または**警告ビュー** に移動します。
- 2 **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または**警告ビュー**の警告から希望の **Dell システム**を選択します。
- 3 **アクション** ペインで、**Dell Windows サーバータスク** → **強制電源オフ** と選択します。

正常電源オフ

このタスクを使用して、オペレーティングシステムをシャットダウンし、システムの電源を切ることができます。

システムの電源を正常に切るには、次の手順を実行します。

- 1 **Operations** コンソールで、**Dell** ダイアグラムビュー、状態ビューまたは警告ビュー に移動します。
- 2 ダイアグラムビュー、状態ビュー、または警告ビューの警告から希望の **Dell** システムを選択します。
- 3 **アクション** ペインで、**Dell Windows** サーバータスク → **正常電源オフ** と選択します。

電源オン

このタスクを使用して、サーバーの電源をオンにできます。このオプションはシステムの電源がオンの状態でも利用可能です。

システムの電源をオンにするには、次の手順を実行します。

- 1 **Operations** コンソールで、**Dell** ダイアグラムビュー、状態ビューまたは警告ビュー に移動します。
- 2 ダイアグラムビュー、状態ビュー、または警告ビューの警告から希望の **Dell** システムを選択します。
- 3 **アクション** ペインで、**Dell Windows** サーバータスク → **電源オン** と選択します。

電源リセット

このタスクを使用して、システムの電源をオフおよびオンにすることができます。システムの電源をリセットするには、次の手順を実行します。

- 1 **Operations Console** で、**Dell** ダイアグラムビュー、状態ビューまたは警告ビュー に移動します。
- 2 ダイアグラムビュー、状態ビュー、または警告ビューの警告から希望の **Dell** システムを選択します。
- 3 **アクション** ペインで、**Dell Windows** サーバータスク → **電源リセット** と選択します。

LED 識別表示オフ

このタスクを実行して、選択したシステムの **LED** 識別表示をオフにできます。

LED 識別表示をオフにするには、次の手順を実行します。

- 1 **Operations** コンソールで、**Dell** ダイアグラムビュー、状態ビューまたは警告ビュー に移動します。
- 2 ダイアグラムビュー、状態ビュー、または警告ビューの警告から希望の **Dell** システムを選択します。
- 3 **アクション** ペインで、**Dell Windows** サーバータスク → **LED 識別表示をオフにする** と選択します。

LED 識別表示オン

このタスクを実行して、選択したシステムの LED 識別表示をオンにできます。

LED 識別表示をオンにするには、次の手順を実行します。

- 1 **Operations** コンソールで、**Dell** ダイアグラムビュー、状態ビューまたは警告ビューに移動します。
- 2 ダイアグラムビュー、状態ビュー、または警告ビューの警告から希望の **Dell** システムを選択します。
- 3 **アクション** ペインで、**Dell Windows** サーバータスク → **LED 識別表示オンにする** と選択します。

Dell Remote Access Controller (DRAC) タスク

Dell Remote Access Console の起動

ご利用の **Dell** システムに **DRAC** が搭載されている場合は、このタスクを使用して **Dell Remote Access Console** を起動できます。

Dell Modular Chassis Remote Access Console の起動

- 1 **Operations** コンソールで、**Dell** ダイアグラムビュー、状態ビューまたは警告ビューに移動します。
- 2 ダイアグラムビュー、状態ビュー、または警告ビューの警告から希望の **DRAC/iDRAC** デバイスを選択します。
- 3 **アクション** ペインで、**SNMP ネットワークデバイスタスク** → **Dell Remote Access Console の起動** と選択します

Dell Chassis Management Controller (CMC) タスク

Dell CMC Console の起動

このタスクを実行して、**CMC Console** を起動できます。

- 1 **Operations Console** で、**Dell** ダイアグラムビュー、状態ビューまたは警告ビューに移動します。
- 2 ダイアグラムビュー、状態ビュー、または警告ビューの警告から **CMC** デバイスを選択します。
- 3 **アクション** ペインで、**SNMP ネットワークデバイスタスク** → **Dell CMC Console の起動** と選択します。

Dell Modular Chassis Remote Access Console の起動

このタスクを実行して、DRAC/MC Console を起動できます。

- 1 Operations Console で、Dell ダイアグラムビュー、状態ビューまたは警告ビューに移動します。
- 2 ダイアグラムビュー、状態ビュー、または警告ビューの警告から DRAC/MC デバイスを選択します。

アクション ペインで、**SNMP ネットワークデバイスタスク** → **Dell Modular Chassis Remote Access Console の起動** と選択します。

レポート

Dell Server Management Pack Suite v4.1 では、レポート機能が提供されています。OpenManage Windows イベントログ、Dell サーバー BIOS、ファームウェア、および RAID 構成のあらかじめ準備された各種レポートを作成できます。

Dell サーバー BIOS、ファームウェア、および RAID 構成の各種レポートは、Detailed Server Management Pack でのみ利用可能です。Scalable Server Management Pack のみを選択した場合、これらのレポートを表示することはできません。

レポート機能にアクセスするには、次の手順を実行します。

- 1 Operations Console で **レポート** をクリックします。
- 2 ナビゲーションペインの **レポート** を展開します。
- 3 Windows イベントログのレポートにアクセスするには、**Dell Windows Server Scalable Edition** をクリックし、BIOS、ファームウェア、および RAID のレポートにアクセスするには、**Dell Windows Server Detail Edition** をクリックします。

サーバーインスタンスをクリックすることで、ダイアグラムビューからレポート機能にアクセスできます。**Dell レポート** のオプションは、Dell システムインスタンスの **アクション** ペインにデフォルトの Microsoft レポートとともにあります。

OpenManage Windows イベントログ

OpenManage Windows イベントログを作成するには、次の手順を実行します。

- 1 **OpenManage Windows イベントログ** をクリックします。アクション ペインで **開く** をクリックします。
- 2 生成するレポートの対象期間を選択します。
- 3 **オブジェクトの追加** または **グループの追加** をクリックします。

- 4 オブジェクトまたはグループを検索するには、**検索** をクリックします。追加をクリックします（複数のオブジェクトを追加できます）。選択したオブジェクトペインにオブジェクトが表示されます。
- 5 生成するレポートの対象となるイベントの重要度を選択します。
- 6 **実行** をクリックします。OpenManage Windows イベントログ レポートが生成されます。

BIOS の設定



メモ：BMC レポートは、管理サーバーに BMU がインストールされている場合のみ作成できます。

BIOS 設定のレポートを作成するには、次の手順を実行します。

- 1 **BIOS 設定** をクリックします。アクションペインで **開く** をクリックします。
- 2 生成するレポートの対象期間を選択します。
- 3 **オブジェクトの追加** または **グループの追加** をクリックします。
- 4 オブジェクトまたはグループを検索するには、**検索** をクリックします。追加をクリックします（複数のオブジェクトを追加できます）。選択したオブジェクトペインに選択したオブジェクトが表示されます。
- 5 必要とする **プロパティ** を選択します。
- 6 **実行** をクリックします。BIOS 設定レポートが生成されます。

ファームウェアおよびドライバのバージョン

ファームウェアおよびドライババージョンのレポートを作成するには、次の手順を実行します。

- 1 **ファームウェアおよびドライババージョン** をクリックします。アクションペインで **開く** をクリックします。
- 2 生成するレポートの対象期間を選択します。
- 3 **オブジェクトの追加** または **グループの追加** をクリックします。
- 4 オブジェクトまたはグループを検索するには、**検索** をクリックします。追加をクリックします（複数のオブジェクトを追加できます）。選択したオブジェクトペインに選択したオブジェクトが表示されます。
- 5 必要とする **プロパティ** を選択します。
- 6 **実行** をクリックします。ファームウェアおよびドライババージョンのレポートが生成されます。

RAID 構成

RAID 設定のレポートを作成するには、次の手順を実行します。

- 1 **RAID 構成** をクリックします。**アクション** ペインで **開く** をクリックします。
- 2 生成するレポートの対象期間を選択します。
- 3 **オブジェクトの追加** または **グループの追加** をクリックします。
- 4 オブジェクトまたはグループを検索するには、**検索** をクリックします。追加をクリックします（複数のオブジェクトを追加できます）。選択したオブジェクトペインに選択したオブジェクトが表示されます。
- 5 必要とする **プロパティ** を選択します。
- 6 **実行** をクリックします。RAID 構成レポートが生成されます。

Dell Server Management Pack Suite のカスタマイズ

Dell Server Management Pack Suite v4.1 を使用することで、お使いの Dell デバイスの検出、監視、およびイベント処理をカスタマイズすることができます。Dell Management Pack の以下のコンポーネントをカスタマイズできます。

- **監視** — 監視対象オブジェクトで発生するさまざまな状況を評価するために監視を行います。この評価により、ターゲットの正常性と生成される警告が決定されます。
- **オブジェクト検出** — オブジェクト検出は、監視が必要なネットワーク上のオブジェクトを見つけるために使用されます。
- **ルール** — ルールは、管理対象オブジェクトによって生成されるイベントなどのデータを収集するために使用されます。



メモ：詳細に関しては、Microsoft System Center Operations Manager 2007 SP1/ R2 のマニュアルを参照してください。

ユニット監視

上書きを使用することで、Dell Server Management Pack Suite v4.1 ユニット監視の次のパラメータをカスタマイズできます。

- **有効化**：監視を有効または無効にできます。**上書き設定** を **True** または **False** に設定できます。
- **秒数間隔**：Dell Management Pack がコンポーネントの状態を確認するために、Dell デバイスからポーリングする頻度（秒数）です。

次のユニット監視があります。

- **イベント監視**：この監視は Dell 計装が Windows イベントログに記録するイベントによって実行され、該当するオブジェクトの状態を示します。
- **ユニット監視**：この監視は IntervalSeconds として設定された定期的なポーリングによって実行されます。

表 3-5 は、さまざまな Dell 監視と Dell デバイ스에適用できるパラメータを説明しています。

表 3-5. 管理パックにおける Dell ユニット監視

グループ	ユニット監視
メモリ	
Dell サーバーメモリステータス	イベントおよび定期
メモリユニットインスタンス	
メモリイベント詳細監視	イベント
メモリユニット詳細監視	定期
OpenManage ソフトウェアサービス	
DSM 接続サービス可用性ステータス	Windows サービス
DSM データマネージャ可用性ステータス	Windows サービス
DSM イベントマネージャ可用性ステータス	Windows サービス
DSM 共有サービス可用性ステータス	Windows サービス
DSM ストレージサービス可用性ステータス	Windows サービス
WMI サービス可用性ステータス	Windows サービス
電源装置	
Dell サーバー電源装置ステータス	イベントおよび定期
電源装置のユニットのインスタンス	
電源装置詳細	イベントおよび定期
プロセッサ	
Dell サーバープロセッサステータス	
プロセッサユニットのインスタンス	
プロセッサ詳細	イベントおよび定期
センサー	
Dell サーバーバッテリーステータス	イベントおよび定期

表 3-5. 管理パックにおける Dell ユニット監視 (続き)

グループ	ユニット監視
Dell サーバー電流ステータス	イベントおよび定期
Dell サーバーファンスステータス	イベントおよび定期
Dell サーバーイントルージョンセンサーステータス	イベントおよび定期
Dell サーバー温度センサーステータス	イベントおよび定期
Dell サーバー電圧センサーステータス	イベントおよび定期
ストレージ	イベントおよび定期
ストレージコネクタ物理ディスクグループ	イベントおよび定期
ストレージコントローラ	
ストレージコントローラステータス	イベントおよび定期
ストレージコントローラコネクタのインスタンス	
コントローラコネクタイベント監視	イベント
コントローラコネクタユニット監視	定期
ストレージコントローラ EMM のインスタンス	
エンクローチャ EMM イベント監視	イベント
エンクローチャ EMM ユニット監視	定期
ストレージコントローラエンクローチャのインスタンス	
コントローラエンクローチャイベント監視	イベント
コントローラエンクローチャユニット監視	定期
ストレージコントローラ物理ディスクのインスタンス	
コントローラ物理ディスクイベント監視	イベント
コントローラ物理ディスクユニット監視	定期
エンクローチャ物理ディスクイベント監視	イベント
エンクローチャ物理ディスクユニット監視	定期
ストレージコントローラ電源装置のインスタンス	
エンクローチャ電源装置イベント監視	イベント
エンクローチャ電源装置ユニット監視	定期
ストレージコントローラセンサー	
コントローラセンサーイベント監視	イベント

表 3-5. 管理パックにおける Dell ユニット監視 (続き)

グループ	ユニット監視
コントローラセンサーユニット監視	定期
ストレージコントローラ仮想ディスクグループ	イベントおよび定期
ストレージコントローラ仮想ディスクのインスタンス	イベントおよび定期
ストレージエンクロージャ物理ディスクグループ	イベントおよび定期
ストレージエンクロージャセンサー	イベントおよび定期
ネットワークインタフェースグループ (ベーシック)	
グローバルネットワークインタフェース (ベーシック) 接続性ステータス	イベントおよび定期
ネットワークインタフェースグループ (エンリッチ)	
グローバルエンリッチドネットワークインタフェースステータス	イベントおよび定期
グローバルネットワークインタフェース (ベーシック) 接続性ステータス	イベントおよび定期
物理ネットワークインタフェースのインスタンス (ベーシック)	
接続ステータス	イベントおよび定期
物理ネットワークインタフェースのインスタンス (エンリッチ)	
管理ステータス	イベントおよび定期
接続ステータス	イベントおよび定期
リンクステータス	イベントおよび定期
動作ステータス	イベントおよび定期
チーミングされたネットワークインタフェースのインスタンス (ベーシック)	
チーミングされたネットワークインタフェース (ベーシック) 可用性ステータス	イベントおよび定期
チーミングされたネットワークインタフェースのインスタンス (エンリッチ)	
チーミングされたネットワークインタフェースのインスタンス (エンリッチ) 管理ステータス	イベントおよび定期
チーミングされたネットワークインタフェースのインスタンス (エンリッチ) 接続性ステータス	イベントおよび定期

表 3-5. 管理パックにおける Dell ユニット監視（続き）

グループ	ユニット監視
チーミングされたネットワークインタフェースのイン スタンス（エンリッチ）リンクステータス	イベントおよび定期
チーミングされたネットワークインタフェースのイン スタンス（エンリッチ）接続性ステータス	イベントおよび定期
チーミングされたネットワークインタフェースのイン スタンス（エンリッチ）冗長性ステータス	イベントおよび定期
CMC	
Dell CMC ステータス	イベントおよび定期
DRAC/MC	
Dell DRAC/MC ステータス	イベントおよび定期
Dell Remote Access Controller 4	
Dell RemoteAccess ステータス	イベントおよび定期
Dell Remote Access Controller 5	
Dell RemoteAccess ステータス	イベントおよび定期
iDRAC	
Dell サーバー iDRAC ネットワークインタフェース 監視	定期
Dell RemoteAccess ステータス	イベントおよび定期
iDRAC モジュール	
Dell RemoteAccess ステータス	イベントおよび定期
iDRAC モノリシック	
Dell RemoteAccess ステータス	イベントおよび定期

オブジェクト検出

オーバーライドを使用して、次の Dell Management Pack の検出パラメータをカスタマイズすることができます。

有効：検出を有効または無効にできます。**オーバーライド設定** を **True** または **False** に設定できます。

秒数間隔：Dell Management Pack が、Dell デバイスのコンポーネント インスタンスおよびその属性を検出する頻度（秒数）。この属性のデフォルト値は、24 時間（1 日）です。

ルール

Dell システムイベント処理のルール

Dell Management Pack が、Server Administrator、Server Administrator Storage Management イベント、DRAC、および CMC トラップからのルールを処理します。

Server Administrator

Server Administrator のすべての情報、警告、および重大イベントには、それぞれ該当するイベント処理のルールがあります。

これらの各ルールは、次の条件に基づいて処理されます。

- Source Name（ソース名）= "Server Administrator"
- Event ID（イベント ID）= Server Administrator 計装イベントの実際のイベント ID
- Severity（重大度）= 実際のイベントの重大度
- データプロバイダ = Windows システムのイベントログ

Storage Management

Server Administrator Storage Management Service のすべての情報、警告、および重大イベントには、それぞれ該当するイベント処理のルールがあります。

これらの各ルールは、次の条件に基づいて処理されます。

- Source Name（ソース名）= "Server Administrator"
- Event ID（イベント ID）= Server Administrator Storage Management Service イベントの実際のイベント ID
- Severity（重大度）= 実際のイベントの重大度
- データプロバイダ = Windows システムのイベントログ

DRAC / CMC / DRAC/MC

DRAC、CMC、DRAC/MC デバイスのすべての情報提供、警告、および重大な SNMP トラップには、対応する SNMP トラップのルールがあります。

これらの各ルールは、次の条件に基づいて処理されます。

- ソース名 = "DRAC/CMC name/ip"
- OID = DRAC /CMC/DRAC/MC SNMP トラップイベントの実際のトラップ ID
- 重大度 = 実際のイベントの重大度
- データプロバイダ = SNMP トラップ

パフォーマンス収集ルール

次のパラメータ情報を収集するパフォーマンス収集ルールには 9 つのルールがあります。

- 周辺温度
- 電源供給ごとのアンペア数
- エネルギー消費量
- ピークアンペア数
- ピーク電力
- 物理ネットワークインタフェース
- 電力消費量（ワット単位）
- 電力消費量（BTU/時単位）
- チューニングされたネットワークインタフェース

Operations Console で **Dell** → **パフォーマンスと電源監視ビュー** とクリックし、Dell システムから収集されたパフォーマンス情報を表示します。この機能は、Scalable Server Management Pack のインストールで提供されます。この機能は、デフォルトでは無効になっています。

この機能を有効にするには、次の手順を実行します。

- 1 Operations コンソールで、**オーサリング** ペインを開きます。
- 2 **ルール** を選択します。
- 3 有効にするルールを右クリックします。

例えば、Dell システムすべてのネットワークインタフェースでの情報収集を有効化するには、次にリストするルールのために手順 4 から手順 6 を実行してください。

- 送信されたパケットの総数
- 受信されたバイト数
- 受信されたパケット総数
- 送信されたバイト数

4 上書き → **ルールの上書き** → **クラスのすべてのオブジェクト** と選択します。

5 上書き を選択し、**上書き値** を True にします。

6 適用 をクリックします。

また、Detailed Server Management Pack のインポート時に、これらのパフォーマンス収集ルールの無効化は、デフォルトで有効になっています。



メモ：ネットワーク統計は詳細 MP のみで定義され、デフォルトでは無効になっています。これらは手動で有効化してください。

関連文書およびリソース

この章では、Dell Server Management Pack Suite v4.1 の操作に役立つ文書および参考資料に関する詳細を説明します。

Operations Manager 2007 SP1/R2 用のパフォーマンスと拡張性に関する Microsoft ガイドライン

最適なパフォーマンスのため、異なる管理ステーションにはデバイス固有の Dell Management Pack を展開します。

Microsoft が推奨する拡張性に関する情報については、Microsoft のウェブサイト

[http://technet.microsoft.com/hi-in/library/bb735402\(en-us\).aspx](http://technet.microsoft.com/hi-in/library/bb735402(en-us).aspx) を参照してください。



メモ：パフォーマンス向上のため、Autogrow オプションが Operations Manager Data Warehouse および / または Database で有効化されていることを確認してください。

その他の必要マニュアル

本『ユーザーガイド』に加え、デルサポートサイト

support.jp.dell.com/manuals に掲載されている次のガイドを参照する必要があります。マニュアルページで、**ソフトウェア** → **システム管理** とクリックします。右側の適切な製品リンクをクリックして、マニュアルにアクセスしてください。

- Dell Integrated Remote Access Controller ユーザーズガイド
- Dell Chassis Management Controller ユーザーズガイド
- Dell OpenManage Installation and Security ユーザーズガイド
- Dell OpenManage ソフトウェアクイックインストールガイド
- Dell OpenManage Server Administrator 互換性ガイド
- Dell OpenManage Server Administrator CIM リファレンスガイド
- Dell OpenManage Server Administrator メッセージリファレンスガイド
- Dell OpenManage Server Administrator コマンドラインインタフェースユーザーズガイド

- Dell OpenManage ベースボード管理コントローラユーティリティユーザーズガイド
- Dell Remote Access Controller 4 ユーザーズガイド
- Dell Remote Access Controller 5 ユーザーズガイド
- Dell Remote Access Controller Racadm ユーザーズガイド
- Dell Life Cycle Controller ユーザーズガイド
- Dell Remote Access Controller/Modular Chassis ユーザーズガイド

『用語集』では、本書で使用されている用語について説明しています。

『Dell Systems Management Tools and Documentation』DVD には、Server Administrator の readme ファイルおよびこの DVD に含まれるその他のシステム管理ソフトウェアアプリケーションの readme ファイルが収録されています。

テクニカルサポートの利用法

このマニュアルに記載した手順に不明な点がある場合や、お使いの製品が予想どおりに動作しない場合は、さまざまなヘルプをご利用いただけます。詳細については、お使いのシステムの『ハードウェアオーナーズマニュアル』の「困ったときは」を参照してください。

さらに、Dell エンタープライズのトレーニングと資格認定もご利用いただけます。詳細については、www.dell.com/training を参照してください。地域によっては、このサービスをご利用いただけない場合もあります。

付録 A - 問題とその解決

問題とその解決

次の表では、既知の問題、解決法、および問題の対象となるアプリケーションを一覧表示します。

表 A-1. 問題とその解決

問題	解決	該当アプリケーション
Dell の警告が時間別にソートされない。	<p>この問題が発生しているマシンのレジストリを確認してください。ソートフラグを変更した管理バックをインポートすると、レジストリで更新されない場合があります。レジストリでビューの設定を削除すると、そのビューへの再アクセス時に、新しい管理バックから設定が再度作成されます。レジストリでソートフラグを編集することもできます。</p> <p>レジストリの編集</p> <pre>HKEY_CURRENT_USER\ Software\Microsoft\ Microsoft Operations Manager\3.0\Console\% GUID.ViewTitle% AlertView\Age</pre> <p>ソートを有効にするには、IsSortable および IsSorted を「1」に設定します。</p>	SCOM 2007 SP1、 SCE 2007 SP1
特定の状況下で、 ハンドル数しきい値 および プライベートバイトしきい値 が管理サーバーの Operations Console に表示される場合がある。	<p>Microsoft サポートサイト (support.microsoft.com) に記載されている Microsoft KB968760 でこの問題は解決します。</p>	SCOM 2007 SP1、 SCE 2007 SP1

表 A-1. 問題とその解決（続き）

問題	解決	該当アプリケーション
特定の状況下で、イベント ID が 623 でイベントソースが Health Service ESE Store のエラーメッセージが管理ステーションの Operations Console に表示される場合がある。	Microsoft サポートサイト (support.microsoft.com) に記載されている Microsoft KB975057 でこの問題は解決します。	SCOM 2007 SP1、 SCE 2007 SP1
System Center Operations Manager 2007 Console がクラッシュする場合がある。	Microsoft サポートサイト (support.microsoft.com) に記載されている Microsoft KB951327 、 KB951526 でこの問題は解決します。	SCOM 2007 SP1、 SCE 2007 SP1
次のような問題が発生する場合がある。 Web Console が開かない。 マイワークスペースページが表示されない。 パフォーマンスビューおよび電源監視ビューが表示されない。	Microsoft サポートサイト (support.microsoft.com) に記載されている Microsoft KB954049 でこの問題は解決します。	SCOM 2007 SP1、 SCE 2007 SP1
Administration Console のレポートスペースで、レポートが正しく表示されない。	Microsoft サポートサイト (support.microsoft.com) に記載されている Microsoft KB954643 でこの問題は解決します。	SCOM 2007 SP1、 SCE 2007 SP1
Dell ネットワーク機器の Diagram view（ダイアグラムビュー）で、Dell DRAC および CMC オブジェクトの基本属性が表示される。	この問題を解決するため、状態ビューでオブジェクトをクリックすることにより、詳細な属性一連を表示することができます。	Dell Remote Access Management Pack、 Dell Chassis Management Controller Management Pack
Dell システムのハードウェアログの状態が、Dell Management Pack によって監視されていない。	Server Administrator 上でお使いの Dell システムのハードウェアログを表示できます。	Dell Scalable Management Pack

表 A-1. 問題とその解決（続き）

問題	解決	該当アプリケーション
サーバーモジュールおよびシャーシスロットのサマリ情報が CMC または DRAC/MC に表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> • CMC、または DRAC/MC を管理する管理サーバーに OMSA または DRAC ツールがインストールされていることを確認します。 • CMC または DRAC/MC デバイスに RunAsAccounts を設定し、それらを「Dell CMC ログインアカウント」または「Dell DRAC/MC ログインアカウント」と関連付けたことを確認します。 • 「Dell CMC スロット検出」および「Dell DRAC/MC スロット検出」ルールが、Operations Console の オーサリングペイン から有効化されていることを確認します。 	Dell CMC Management Pack

既知の制限

表 A-2. SCOM/SCE および Dell Server Management Pack Suite 4.1 の制限

制限	該当アプリケーション
<p>セキュリティ：Dell Management Pack の電源制御タスクと LED タスクは、デフォルトの資格情報のみを使用します。オーサリングペインで新しいタスクを作成して表示すると、指定したユーザー名とパスワードが確認できます。タスクの表示時に資格情報は非表示にはなりません。</p>	SCOM/SCE および Dell Server Management Pack Suite
<p>Health Explorer の使用時に、サブインスタンスが存在していないにもかかわらず、Dell Management Pack の一部のユニットモニタ（Sensors および OpenManage Services インスタンス下）が緑色のステータスを表示する場合があります。これは、ターゲットクラスが存在していて、ユニットモニタが実行されたときに、ユニットモニタの状態が使用不可能にはなり得ないためです。</p>	SCOM/SCE および Dell Server Management Pack Suite

表 A-2. SCOM/SCE および Dell Server Management Pack Suite 4.1 の制限

制限	該当アプリケーション
センサーのイントルージョンユニットモニタのステータスは、シャーシのみの状態を示すものであり、ベゼルイントルージョンの正常性は含まれていません。	Dell Server Management Pack Suite